

分担研究報告書

中学生における「シンナー遊び」・喫煙・飲酒についての調査研究

分担研究者	和田 清	国立精神・神経センター 薬物依存研究部	精神保健研究所 部長
研究協力者	勝野眞吾	兵庫教育大学 学校教育学部	教授
	尾崎米厚	国立公衆衛生院 疫学部	主任研究官
	中野良吾	国立精神・神経センター 薬物依存研究部	精神保健研究所 流動研究員

研究要旨 わが国の中学生における「シンナー遊び」の広がりを把握し、同時に「シンナー遊び」開始に関するリスク・ファクターを特定するために、飲酒・喫煙の意識・実態、大麻・覚せい剤乱用の意識・実態をも含めて、1996年10月に、層別1段集落抽出法により選ばれた全国186校の全生徒を対象に自記式調査を実施し、108校（対象校の58.1%）の中学生54,122人（対象校186校の全生徒の51.1%前後）より回答を得た。有効回答は54,048人であった。ただし、人口10万人当たりの覚せい剤取締法違反検挙者数が全国平均よりも高い¹⁾神奈川県、京都府、奈良県、広島県の対象校をはじめとして8府県の対象校からは回答が得られず、同様に覚せい剤取締法違反検挙者数が全国平均よりも高い大阪府の対象校からの回答率も低いという限界があることをふまえた上で本調査結果を利用する必要がある。このような限界はあるが、以下のような結論を得た。①男子では1.4%（1年生1.1%、2年生1.3%、3年生1.7%）、女子では0.7%（1年生0.7%、2年生0.6%、3年生0.8%）、全体では1.1%（1年生0.9%、2年生1.0%、3年生1.3%）の者がこれまでに「シンナー遊び」を経験したことがあると回答した。この結果は、これまでになされた類似の方法論による特定地域の調査結果よりは低い値であった。②この傾向は、毒物及び劇物取締法違反による検挙者数²⁾および「薬物関連精神疾患に関する全国精神病院調査」³⁾の傾向と一致しており、わが国における中学生の有機溶剤乱用の勢いは下降気味にあることを示唆するものと推定された。③しかしながら、欧米諸国での歴史は、他の規制薬物の入手が容易になると、乱用薬物の多様化によって、有機溶剤乱用の勢いは鈍ることを教えている。現在のわが国は、有機溶剤乱用傾向の縮小に反して、大麻・覚せい剤をはじめとする他の規制薬物の乱用・依存は拡大傾向にあると考えられ（1996年の1年間に覚せい剤取締法違反により検挙された高校生数は対前年度比2.3倍と激増した⁴⁾）、わが国はこれまでにない薬物汚染拡大の危機的状況に置かれていると考えられる。④有機溶剤乱用経験者群では、非経験者群に比べて、日常生活の規則性、学校生活、家庭生活、友人関係において、好ましくない傾向が統計学的有意差を持って強いことが明らかになった。⑤また、中学生における喫煙及び親が同伴しない飲酒は有機溶剤乱用と強い繋がりを持っていることが示唆された。⑥有機溶剤乱用の人体に及ぼす諸害についての知識の普及率は、未だ高いものではなかった。特に、精神的障害については、無動機症候群、フラッシュバック等に関して、これまで以上に教育する必要性が示唆された。同時に、害知識の普及率は有機溶剤経験者群の方が非経験者群より高く、薬物乱用防止教育における「知識」が、直接的には「行動」に結びつきにくい一面があることが示唆された。⑦以上の結果から、中学生における有機溶剤乱用の予防には、「知識」を「行動」に結びつける効果を考えた予防教育が重要であり、同時に、家庭生活の改善、学校生活の充実等、日常レベルでの生活の充実が必要であることが示唆された。⑧また、参考データではあるが、大麻及び覚せい剤乱用についての意識・実態調査データを提供した。

A. 研究目的

分担研究者らによるこれまでの調査研究によれば、わが国では、薬物乱用により、精神障害をきたして精神病院を受診した患者のうち、約40%は有機溶剤乱用が原因であり、約35%は覚せい剤乱用が原因であった⁹⁾。しかも、覚せい剤乱用により精神障害をきたして精神病院を受診した患者の約3分の1の者は、覚せい剤乱用以前に有機溶剤乱用の既往があった⁹⁾。つまり、わが国では、その後の覚せい剤乱用を考えると、飲酒・喫煙を除けば有機溶剤乱用が精神医療の面からみて、最大の依存性物質であり、有機溶剤乱用こそが、その後の薬物乱用への門を開く「ゲイトウェイ・ドラッグ」であろうと推定できる。

この有機溶剤乱用は、14歳から16歳で開始されることが多く¹⁰⁾、予防対策の焦点は中学生に絞られる。したがって、中学生における「シンナー遊び」の実態を把握し、「シンナー遊び」開始のハイリスク・ファクターを特定することは、わが国における薬物乱用防止対策上不可欠である。

同時に、中学生における喫煙、飲酒は、「シンナー遊び」と強い関係を有していると推定され^{9,12,13)}、中学生における喫煙、飲酒の一部が「シンナー遊び」開始ないしは継続への「ゲイトウェイ」になっている可能性が高い。

さらに、この2~3年来、外国人による大麻の密売が問題になっており、その販売ルート上で覚せい剤までもが密売され出し、規制薬物の入

	対象校	回答校	実施率(%)		対象校	回答校	実施率(%)
北海道	9	5	55.6	京都	4	0	0
青森	2	1	50.0	大阪	12	2	16.7
岩手	2	2	100	兵庫	8	4	50.0
宮城	4	4	100	奈良	8	0	0
秋田	2	2	100	和歌山	2	2	100
山形	2	0	0	鳥取	1	1	100
福島	4	3	75.0	島根	1	1	100
茨城	5	4	80.0	岡山	3	1	33.3
栃木	3	2	66.7	広島	4	0	0
群馬	3	3	100	山口	2	1	50.0
埼玉	10	8	80.0	徳島	1	0	0
千葉	8	8	100	香川	2	1	50.0
東京	14	6	42.9	愛媛	2	1	50.0
神奈川	11	0	0	高知	1	1	100
新潟	4	4	100	福岡	8	6	75.0
富山	2	1	50.0	佐賀	2	2	100
石川	2	2	100	長崎	3	2	66.7
福井	1	1	100	熊本	3	1	33.3
山梨	1	1	100	大分	2	0	0
長野	3	3	100	宮崎	2	1	50.0
岐阜	3	3	100	鹿児島	3	0	0
静岡	6	6	100	沖縄	2	1	50.0
愛知	10	7	70.0				
三重	3	2	66.7				
滋賀	2	2	100	全体	186	108	58.1

表1 対象校の分布と回答状況

手がこれまでになく容易になったと言われている。それを反映してか、1996年の1年間に覚せい剤事犯として検挙された高校生の数は214人となり、対前年比2.3倍と激増している¹⁴⁾。

これらの状況は、わが国が現在、これまでにない薬物汚染拡大の危機に直面していることを意味している。この危機的状況を乗り切るためには、未成年者、特に有機溶剤乱用開始最頻年齢と想定される中学生に焦点を当てた予防対策が重要である。

以上の考えから、平成8年度はわが国初の薬物乱用に関する意識・実態、および「シンナー遊び」経験者の生活背景に関する全国中学生調査を実施した。

B. 研究方法

調査は、1996年10月中に、下記方法にて選ばれた対象校で、原則として全生徒による自己記入式調査として実施された。

対象校の抽出方法には層別1段集落抽出法を用いた。抽出に用いたデータベースは、1996年版の全国学校総覧⁹⁾である。どの都道府県からも最低1校は抽出されるようにするために、都道府県を層とし、中学生数に比例して都道府県毎に対象校の抽出を行った。すなわち、中学生数の最も少ない鳥取県から1校抽出するようにし、その他の都道府県からは鳥取県の生徒数との比に従って中学校を抽出した。抽出は、学校毎の生徒数に比例して抽出確率を決める確率抽出法により行い、実際の抽出には乱数を用いた（無作為抽出）。抽出された学校の全生徒を調査対象としたので1段集落抽出法と呼ぶ。この場合の集落とは学校を指す。この操作により、全国の中学校から186校（105,993人）が抽出された。

調査用紙には氏名等個人を特定できる項目はなく、学年、性別、日常生活の規則正しさ、学校生活、家庭生活、友人関係、喫煙について、飲酒について、「シンナー遊び」について、大麻乱用について、覚せい剤乱用について、ドーピングについての全50項目から構成されている。

調査用紙は教師によって生徒に配られた。記載の終わった生徒は、同時に配られた個人用封筒に調査用紙を入れ、封をし、あらかじめ用意されたクラス毎の回収用封筒に個人用封筒を投函した。各学校はクラス用回収封筒をとりまとめて当研究所に郵送し、各封筒は当研究所にて初めて開封された。

186校（国立3校、公立174校、私立9校）中、調査に回答して頂けた中学校は108校（国立0校、公立105校、私立3校）であり、対象校の58.1%に回答して頂けた。そのうち5校については、2年生のみ全員実施した学校が1校、3年生についてのみ全員実施した学校が1校、2年生は全員実施したがその他の学年では限られたクラスでのみ実施した学校が2校、2年生と3年生では全員実施したが、1年生では限られたクラスのみで実施した学校が1校であった。

以上の結果、54,122人（対象校186校の全生徒の約51.1%）の調査用紙が回収されたが、うち74通には、明らかな記載上の不備、または意図的な操作的記載があり、無効とした。したがって、有効回答は54,048人である。

また、有機溶剤の乱用には、都市中心部と都市周辺部とで違いがありそうだが、どちらに多いかは都市によって異なっている可能性がある¹⁾。しかし同時に、都市全体同士の比較では予想以上に地域格差がない可能性もある¹³⁾。そこで、今回の調査が全国の中学生を対象にしながらも、全国を代表していない可能性もあるため、都道

	1年生		2年生		3年生		全 体	
男 性	8,964	(50.6)	9,377	(50.9)	9,168	(51.2)	27,509	(50.9)
女 性	8,738	(49.3)	9,021	(49.0)	8,725	(48.7)	26,484	(49.0)
無回答	20	(0.1)	16	(0.1)	19	(0.1)	55	(0.1)
全 体	17,722	(100)	18,414	(100)	17,912	(100)	54,048	(100)

表2 対象の内訳

府県毎の回答状況を表1に示した。表1の実施状況が今回の調査結果にどのような影響を及ぼしているかは不明であるが、本調査の限界として、表1を見ておく必要がある。

有効回答の内訳は表2の通りである。男子27,509人、女子26,484人、性別不明55人の計54,048人である。

結果は、性別不明者55人を除いた53,993人について分析した。結果の検定に当たっては、項目毎に回答の「不明」を除外し、それぞれの項目毎に「シンナー遊び」経験者群（以下、経験者群）と「シンナー遊び」非経験者群（以下、非経験者群）とについて χ^2 検定をおこなった。

性別・学年別の「シンナー遊び」生涯経験率は表3の通りである。「シンナー遊び」生涯経験率（これまでに1回でも経験したことのある者の割合）は男子で1.4%（1年生1.1%、2年生1.3%、3年生1.7%）、女子で0.7%（1年生0.7%、2年生0.6%、3年生0.8%）であり、全体では1.1%（1年生0.9%、2年生1.0%、3年生1.3%）であった。

また、男子の生涯経験率には、学年間で有意差（ $P < 0.01$ ）が認められ、学年が進むにしたがって高くなる傾向が伺われた。しかし、女子では学年間での有意差は認められなかった。この結果は、1994年に千葉県と西日本A県B市で実施した結果と同じであった¹³⁾。

C. 研究結果

1. 「シンナー遊び」について

1. 有機溶剤乱用の広がりについて

(1) 「シンナー遊び」の生涯経験率について

(2) 「シンナー遊び」のこの1年間での経験率について

この1年間での「シンナー遊び」の経験率（1年経験率）は表4の通りである。男子で0.8%（1年生0.6%、2年生0.8%、3年生0.9%）、女子で0.4%（1年生0.4%、2年生0.3%、3年生0.6%）であり、

	1年生	2年生	3年生	全体
男 性				
「シナ」経験・なし	8718 (97.3)	9135 (97.4)	8927 (97.4)	26780 (97.3)
「シナ」経験・あり	103 (1.1)	123 (1.3)	157 (1.7)	383 (1.4)
無回答	143 (1.6)	119 (1.3)	84 (0.9)	346 (1.3)
男性計	8964 (100)	9377 (100)	9168 (100)	27509 (100)
			($\chi^2=10.78900$, $df=2$, $p=0.00454$)	
女 性				
「シナ」経験・なし	8612 (98.6)	8883 (98.5)	8593 (98.5)	26088 (98.5)
「シナ」経験・あり	58 (0.7)	57 (0.6)	74 (0.8)	189 (0.7)
無回答	68 (0.8)	81 (0.9)	58 (0.7)	207 (0.8)
女性計	8738 (100)	9021 (100)	8725 (100)	26484 (100)
			($\chi^2=3.33958$, $df=2$, $p=0.18829$)	
全 体				
「シナ」経験・なし	17330 (97.9)	18018 (97.9)	17520 (97.9)	52868 (97.9)
「シナ」経験・あり	161 (0.9)	180 (1.0)	231 (1.3)	572 (1.1)
無回答	211 (1.2)	200 (1.1)	142 (0.8)	553 (1.0)
全 体	17702 (100)	18398 (100)	17893 (100)	53993 (100)
			($\chi^2=13.78849$, $df=2$, $p=0.00101$)	

表3 これまでに一回でも「シンナー遊び」を経験したことのある率（生涯経験率）

全体では0.6%（1年生0.5%、2年生0.6%、3年生0.8%）であった。

また、男子の1年経験率には学年間での有意差は認められないものの、学年が進むにしたがって高くなる傾向が伺われた。

(3) 「シンナー遊び」の目撃について

「あなたは、『シンナー遊び』をしているところを実際に見たことがありますか？」に対する回答の分布を表5に示した。

男女ともに約10%強の生徒が見たことがあるという結果であった。同時に、男女ともに、学年が進むにつれて見たことのある者が有意に増えていく傾向が示唆された。

(4) 「シンナー遊び」経験者の存在の身近さについて

「あなたの身近に、『シンナー遊び』をしている人がいますか？」との問いに対する回答の分

布を表6に示した。

男女ともに、学年間で有意差が認められ ($P < 0.01$)、男女ともに、学年が進むに従って、「いる」と答えた者の割合が高くなっていくことが示唆された。しかも、男子よりも女子に多い傾向は以前の同種の調査と同じであった¹³⁾。

(5) 「シンナー遊び」への誘惑について

「あなたは、『シンナー遊び』に誘われたことがありますか？」との問いに対する回答の分布を表7に示した。

ここでも、男女ともに、学年間で有意差が認められ ($P < 0.01$)、学年が進むに従って、誘われたことのある率が高くなる傾向が伺われた。

2. 有機溶剤乱用に対する捉え方

(1) 「シンナー遊び」に対する気持ちについて

「『シンナー遊び』について、あなたの気持ち

	1年生	2年生	3年生	全体
男 性				
ない	8452 (94.3)	8914 (95.1)	8776 (95.7)	26142 (95.0)
ある	55 (0.6)	73 (0.8)	86 (0.9)	214 (0.8)
無回答	457 (5.1)	390 (4.2)	306 (3.3)	1153 (4.2)
男性計	8964 (100)	9377 (100)	9168 (100)	27509 (100)
	($\chi^2=5.65441$, $df=2$, $p=0.05918$)			
女 性				
ない	8466 (96.9)	8778 (97.3)	8516 (97.6)	25760 (97.3)
ある	33 (0.4)	31 (0.3)	49 (0.6)	113 (0.4)
無回答	239 (2.7)	212 (2.4)	160 (1.8)	611 (2.3)
女性計	8738 (100)	9021 (100)	8725 (100)	26484 (100)
	($\chi^2=5.52536$, $df=2$, $p=0.06312$)			
全 体				
ない	16918 (95.6)	17692 (96.2)	17292 (96.6)	51902 (96.1)
ある	88 (0.5)	104 (0.6)	135 (0.8)	327 (0.6)
無回答	696 (3.9)	602 (3.3)	466 (2.6)	1764 (3.3)
全 体	17702 (100)	18398 (100)	17893 (100)	53993 (100)
	($\chi^2=9.90500$, $df=2$, $p=0.00707$)			

表4 この1年間に「シンナー遊び」を一回でも経験したことのある者の率（一年経験率）

	1年生	2年生	3年生	全 体
男 性				
ない	8052 (89.8)	8169 (87.1)	7857 (85.7)	24078 (87.5)
ある	883 (9.9)	1178 (12.6)	1290 (14.1)	3351 (12.2)
無回答	29 (0.3)	30 (0.3)	21 (0.2)	80 (0.3)
男性計	8964 (100)	9377 (100)	9168 (100)	27509 (100)
			($\chi^2=77.04193$, df=2, p=0.00000)	
女 性				
ない	7920 (90.6)	7920 (87.8)	7575 (86.8)	23415 (88.4)
ある	798 (9.1)	1084 (12.0)	1137 (13.0)	3019 (11.4)
無回答	20 (0.2)	17 (0.2)	13 (0.1)	50 (0.2)
女性計	8738 (100)	9021 (100)	8725 (100)	26484 (100)
			($\chi^2=70.58828$, df=2, p=0.00000)	
全 体				
ない	15972 (90.2)	16089 (87.4)	15432 (86.2)	47493 (88.0)
ある	1681 (9.5)	2262 (12.3)	2427 (13.6)	6370 (11.8)
無回答	49 (0.3)	47 (0.3)	34 (0.2)	130 (0.2)
全 体	17702 (100)	18398 (100)	17893 (100)	53993 (100)
			($\chi^2=147.51465$, df=2, p=0.00000)	

表5 「シンナー遊び」を実際に見たことがありますか？

	1年生	2年生	3年生	全 体
男 性				
いない	8585 (95.8)	8889 (94.8)	8550 (93.3)	26024 (94.6)
いる	316 (3.5)	424 (4.5)	583 (6.4)	1323 (4.8)
無回答	63 (0.7)	64 (0.7)	35 (0.4)	162 (0.6)
男性計	8964 (100)	9377 (100)	9168 (100)	27509 (100)
			($\chi^2=81.09297$, df=2, p=0.00000)	
女 性				
いない	8355 (95.6)	8413 (93.3)	8090 (92.7)	24858 (93.9)
いる	338 (3.9)	558 (6.2)	596 (6.8)	1492 (5.6)
無回答	45 (0.5)	50 (0.6)	39 (0.4)	134 (0.5)
女性計	8738 (100)	9021 (100)	8725 (100)	26484 (100)
			($\chi^2=79.83577$, df=2, p=0.00000)	
全 体				
いない	16940 (95.7)	17302 (94.0)	16640 (93.0)	50882 (94.2)
いる	654 (3.7)	982 (5.3)	1179 (6.6)	2815 (5.2)
無回答	108 (0.6)	114 (0.6)	74 (0.4)	296 (0.5)
全 体	17702 (100)	18398 (100)	17893 (100)	53993 (100)
			($\chi^2=150.73243$, df=2, p=0.00000)	

表6 身近に「シンナー遊び」をしている人がいますか？

はどれに最も近いですか？」との問いに対する未経験者群の回答の分布を表8に示した。

男女ともに、学年間で有意差が認められるが (P<0.01)、男子では学年とともに「関心がない」者が増加し、女子では2年生「見てみたい」「試してみたい」と答えた者が増える傾向が伺われた。

「シンナー遊び」の生涯経験率が男子では学年とともに増加し、女子では2年生で最低となったことを考えると (表3)、男子では「シンナー遊び」をする者としないう者が学年とともに乖離し、女子では2年生で好奇心を持つ者が若干増えた可能性を示唆していると考えられる。

(2)法規制と「シンナー遊び」(その1)について

『シンナー遊び』は法律で禁じられていますが、その『シンナー遊び』をすることをどう思いますか？」との問いに対する回答の分布を表9に示した。

回答の分布には、男女共に有意差が認められ

(P<0.01)、経験者群では、「法律で禁止されているが、少々ならかまわないと思う」「法律を守る必要は全然ないと思う」と答えた者が50%台もいた。

(3)法規制と「シンナー遊び」(その2)について

「法律で『シンナー遊び』を禁止しているのをどう思いますか？」との問いに対する回答の分布を表10に示した。

回答の分布には、男女共に有意差が認められ (P<0.01)、非経験者群では、男女ともに85%強の者が「当然だと思う」と答えたのに対して、経験者群では「麻薬・覚せい剤とちがって、シンナーくらい禁止しなくてもいいのではないかと思う」「そもそも法律で決める必要はなく、個人の好きにさせればよいと思う」と答えた者が相当数いた (男子で46.5%、女子で35%)。

(4)「シンナー遊び」をしている者への見方(その1)

	1年生	2年生	3年生	全体
男性				
ない	8712 (97.2)	9082 (96.9)	8834 (96.4)	26628 (96.8)
ある	104 (1.2)	155 (1.7)	222 (2.4)	481 (1.7)
無回答	148 (1.7)	140 (1.5)	112 (1.2)	400 (1.5)
男性計	8964 (100)	9377 (100)	9168 (100)	27509 (100)
			(χ ² =42.20011, df=2, p=0.00000)	
女性				
ない	8489 (97.2)	8739 (96.9)	8429 (96.6)	25657 (96.9)
ある	99 (1.1)	143 (1.6)	161 (1.8)	403 (1.5)
無回答	150 (1.7)	139 (1.5)	135 (1.5)	424 (1.6)
女性計	8738 (100)	9021 (100)	8725 (100)	26484 (100)
			(χ ² =15.04094, df=2, p=0.00054)	
全体				
ない	17201 (97.2)	17821 (96.9)	17263 (96.5)	52285 (96.8)
ある	203 (1.1)	298 (1.6)	383 (2.1)	884 (1.6)
無回答	298 (1.7)	279 (1.5)	247 (1.4)	824 (1.5)
全体	17702 (100)	18398 (100)	17893 (100)	53993 (100)
			(χ ² =54.08207, df=2, p=0.00000)	

表7 「シンナー遊び」に誘われた経験

	1年生	2年生	3年生	全体
男性				
関心がない	7859 (88.7)	8277 (89.4)	8248 (91.5)	24384 (89.9)
見てみたい	763 (8.6)	744 (8.0)	544 (6.0)	2051 (7.6)
試してみたい	171 (1.9)	177 (1.9)	172 (1.9)	520 (1.9)
無回答	68 (0.8)	56 (0.6)	47 (0.5)	171 (0.6)
男性計	8861 (100)	9254 (100)	9011 (100)	27126 (100)
			(χ ² =47.69255, df=4, p=0.00000)	
女性				
関心がない	7649 (88.1)	7805 (87.1)	7758 (89.7)	23212 (88.3)
見てみたい	848 (9.8)	956 (10.7)	716 (8.3)	2520 (9.6)
試してみたい	133 (1.5)	164 (1.8)	148 (1.7)	445 (1.7)
無回答	50 (0.6)	39 (0.4)	29 (0.3)	118 (0.4)
女性計	8680 (100)	8964 (100)	8651 (100)	26295 (100)
			(χ ² =32.37939, df=4, p=0.00000)	
全体				
関心がない	15508 (88.4)	16082 (88.3)	16006 (90.6)	47596 (89.1)
見てみたい	1611 (9.2)	1700 (9.3)	1260 (7.1)	4571 (8.6)
試してみたい	304 (1.7)	341 (1.9)	320 (1.8)	965 (1.8)
無回答	118 (0.7)	95 (0.5)	76 (0.4)	289 (0.5)
全体	17541 (100)	18218 (100)	17662 (100)	53421 (100)
			(χ ² =70.42595, df=4, p=0.00000)	

表8 「シンナー遊び」についての気持ち（未経験者についてのみ）

	すべきではない	少々なら かまわない	禁止を守る 必要なし	無回答	全体
男性					
「シンナー」経験・なし	24941 (93.1)	1023 (3.8)	756 (2.8)	60 (0.2)	26780 (100)
「シンナー」経験・あり	174 (45.4)	94 (24.5)	113 (29.5)	2 (0.5)	383 (100)
無回答	256 (74.0)	9 (2.6)	9 (2.6)	72 (20.8)	346 (100)
男性計	25371 (92.2)	1126 (4.1)	878 (3.2)	134 (0.5)	27509 (100)
			(χ ² =1331.34214, df=2, p=0.00000)		
女性					
「シンナー」経験・なし	24590 (94.3)	1079 (4.1)	356 (1.4)	63 (0.2)	26088 (100)
「シンナー」経験・あり	89 (47.1)	51 (27.0)	46 (24.3)	3 (1.6)	189 (100)
無回答	140 (67.6)	15 (7.2)	1 (0.5)	51 (24.6)	207 (100)
女性計	24819 (93.7)	1145 (4.3)	403 (1.5)	117 (0.4)	26484 (100)
			(χ ² =931.96162, df=2, p=0.00000)		
全体					
「シンナー」経験・なし	49531 (93.7)	2102 (4.0)	1112 (2.1)	123 (0.2)	52868 (100)
「シンナー」経験・あり	263 (46.0)	145 (25.3)	159 (27.8)	5 (0.9)	572 (100)
無回答	396 (71.6)	24 (4.3)	10 (1.8)	123 (22.2)	553 (100)
全体	50190 (93.0)	2271 (4.2)	1281 (2.4)	251 (0.5)	53993 (100)
			(χ ² =2338.47341, df=2, p=0.00000)		

表9 「シンナー遊び」についてどう思いますか？

『シンナー遊び』をしている人について、どう思いますか？」との問いに対する回答の分布を表11に示した。

回答の分布には、男女共に有意差が認められ ($P < 0.01$)、非経験者群では男女共に約92~93%の者が「自分には無関係の人」と答えたのに対して、経験者群では「気持ち理解できる気がする」ないしは「親しみを感じる」と答えた者が相当数いた (男子で56.4%、女子で62.4%)。この結果は、「シンナー遊び」への好奇心を見た表8の経験者群・未経験者群での乖離現象と同様に考えられる。

(5) 「シンナー遊び」をしている者への見方 (その2)

『シンナー遊び』をしている人と親しくなる事について、どう思いますか？」との問いに対する回答の分布を表12に示した。

回答の分布には、男女共に有意差が認められ

た ($P < 0.01$)。非経験者では「親しくなりたくない」と答えた者が男女共に多いのに対して、経験者群では男女共に「シンナー遊びだけで決めたくない」と答えた者と「すでに親しい」と答えた者の合計の方が多かった。

(6) 「シンナー遊び」をする理由について

「どうして『シンナー遊び』をするのだと思いますか？」との問いに対する回答の分布を表13に示した。

非経験者群では、男女ともに「本人に問題があるから」ないしは「家庭に問題があるから」と答えたものが多かったが、女子では「家庭に問題があるから」と答えた者の多さが目立った。

一方、経験者群では男女共に「本人に問題があるから」「家庭に問題があるから」と答えた者が相対的に多いのは同じだが、「学校に問題があるから」「社会に問題があるから」と答えた者も劣らず多いと解釈できる。

	当然だと思 う	しかたない	シンナー くらい禁止 しなくていい	個人の自由	無回答	全 体
男 性						
「シンナー」経験・なし	22805 (85.2)	2282 (8.5)	294 (1.1)	1377 (5.1)	22 (0.1)	26780 (100)
「シンナー」経験・あり	144 (37.6)	59 (15.4)	60 (15.7)	118 (30.8)	2 (0.5)	383 (100)
無回答	229 (66.2)	29 (8.4)	3 (0.9)	15 (4.3)	70 (20.2)	346 (100)
男性計	23178 (84.3)	2370 (8.6)	357 (1.3)	1510 (5.5)	94 (0.3)	27509 (100)
($\chi^2=1193.84827$, $df=3$, $p=0.00000$)						
女 性						
「シンナー」経験・なし	22366 (85.7)	2403 (9.2)	262 (1.0)	1013 (3.9)	44 (0.2)	26088 (100)
「シンナー」経験・あり	80 (42.3)	41 (21.7)	23 (12.2)	43 (22.8)	2 (1.1)	189 (100)
無回答	131 (63.3)	16 (7.7)	2 (1.0)	8 (3.9)	50 (24.2)	207 (100)
女性計	22577 (85.2)	2460 (9.3)	287 (1.1)	1064 (4.0)	96 (0.4)	26484 (100)
($\chi^2=458.72253$, $df=3$, $p=0.00000$)						
全 体						
「シンナー」経験・なし	45171 (85.4)	4685 (8.9)	556 (1.1)	2390 (4.5)	66 (0.1)	52868 (100)
「シンナー」経験・あり	224 (39.2)	100 (17.5)	83 (14.5)	161 (28.1)	4 (0.7)	572 (100)
無回答	360 (65.1)	45 (8.1)	5 (0.9)	23 (4.2)	120 (21.7)	553 (100)
全 体	45755 (84.7)	4830 (8.9)	644 (1.2)	2574 (4.8)	190 (0.4)	53993 (100)
($\chi^2=1718.24917$, $df=3$, $p=0.00000$)						

表10 法律で「シンナー遊び」を禁止しているのをどう思いますか？

	自分には無関係	気持ちが理解できる	親しみを感 じる	無回答	全 体
男 性					
「シナー」経験・なし	24928 (93.1)	1475 (5.5)	254 (0.9)	123 (0.5)	26780 (100)
「シナー」経験・あり	159 (41.5)	124 (32.4)	92 (24.0)	8 (2.1)	383 (100)
無回答	237 (68.5)	26 (7.5)	5 (1.4)	78 (22.5)	346 (100)
男性計	25324 (92.1)	1625 (5.9)	351 (1.3)	209 (0.8)	27509 (100)
($\chi^2=2184.50272$, $df=2$, $p=0.00000$)					
女 性					
「シナー」経験・なし	24062 (92.2)	1769 (6.8)	109 (0.4)	148 (0.6)	26088 (100)
「シナー」経験・あり	68 (36.0)	90 (47.6)	28 (14.8)	3 (1.6)	189 (100)
無回答	136 (65.7)	18 (8.7)	3 (1.4)	50 (24.2)	207 (100)
女性計	24266 (91.6)	1877 (7.1)	140 (0.5)	201 (0.8)	26484 (100)
($\chi^2=1265.76183$, $df=2$, $p=0.00000$)					
全 体					
「シナー」経験・なし	48990 (92.7)	3244 (6.1)	363 (0.7)	271 (0.5)	52868 (100)
「シナー」経験・あり	227 (39.7)	214 (37.4)	120 (21.0)	11 (1.9)	572 (100)
無回答	373 (67.5)	44 (8.0)	8 (1.4)	128 (23.1)	553 (100)
全 体	49590 (91.8)	3502 (6.5)	491 (0.9)	410 (0.8)	53993 (100)
($\chi^2=3656.71308$, $df=2$, $p=0.00000$)					

表11 「シナー遊び」をしている人についてどう思いますか？

	親しくなりたく ない	シナーだけで決 めたくない	すでに親し い	無回答	全 体
男 性					
「シナー」経験・なし	18714 (69.9)	7703 (28.8)	228 (0.9)	135 (0.5)	26780 (100)
「シナー」経験・あり	115 (30.0)	152 (39.7)	111 (29.0)	5 (1.3)	383 (100)
無回答	184 (53.2)	79 (22.8)	4 (1.2)	79 (22.8)	346 (100)
男性計	19013 (69.1)	7934 (28.8)	343 (1.2)	219 (0.8)	27509 (100)
($\chi^2=2515.97094$, $df=2$, $p=0.00000$)					
女 性					
「シナー」経験・なし	16522 (63.3)	9249 (35.5)	213 (0.8)	104 (0.4)	26088 (100)
「シナー」経験・あり	39 (20.6)	86 (45.5)	61 (32.3)	3 (1.6)	189 (100)
無回答	90 (43.5)	61 (29.5)	4 (1.9)	52 (25.1)	207 (100)
女性計	16651 (62.9)	9396 (35.5)	278 (1.0)	159 (0.6)	26484 (100)
($\chi^2=1862.36506$, $df=2$, $p=0.00000$)					
全 体					
「シナー」経験・なし	35236 (66.6)	16952 (32.1)	441 (0.8)	239 (0.5)	52868 (100)
「シナー」経験・あり	154 (26.9)	238 (41.6)	172 (30.1)	8 (1.4)	572 (100)
無回答	274 (49.5)	140 (25.3)	8 (1.4)	131 (23.7)	553 (100)
全 体	35664 (66.1)	17330 (32.1)	621 (1.2)	378 (0.7)	53993 (100)
($\chi^2=4408.40574$, $df=2$, $p=0.00000$)					

表12 「シナー遊び」をしている人と親しくなる事についてどう思いますか？

3. 有機溶剤乱用による医学的害について

(1) 「シンナー」吸引による急性中毒死について

『シンナー遊び』で死亡すること（急性中毒死）があることを知っていますか？」との問いに対する回答の分布を表14に示した。

回答の分布には、男女ともに有意差が認められ ($P < 0.05$, $p < 0.01$)、男女ともに経験者群で「知っている」者が多かった。この経験者群の方で急性中毒死を知っている者が多いと言う結果は、これまでに報告された結果と同様であり^{8,9,12,13)}、「知識が行動に結びつくとは限らない」という薬物乱用・依存問題の重要な問題性を提起しており、薬物乱用防止教育実施の際には考慮すべき点であると考えられる。

(2) 「シンナー」吸引の繰り返しによる歯の腐食について

『シンナー遊び』を繰り返すと、歯がぼろぼろになりやすことを知っていますか？」との問いに対する回答の分布を表15に示した。

回答の分布には、男女ともに有意差が認められ ($p < 0.01$)、経験者群の方が、「知っている」と答えた者が有意に多かった。これも、急性中毒死についてと同様のことが言えよう。

また、この害について、未経験者群の約半数強しか知らないと言う結果は憂慮すべき結果である。

(3) 「シンナー」吸引の繰り返しによる多発神経炎について

『シンナー遊び』を繰り返すと、手足の筋肉や神経が衰え、物をつかめなかつたり、歩けなくなること（多発神経炎）があるのを知っていますか？」との問いに対する回答の分布を表16に示した。

	本人に問題	家庭に問題	学校に問題	社会に問題	全体
男 性					
「シンナー」経験・なし	17423 (66.3)	14539 (55.3)	7979 (30.3)	8188 (31.1)	26294 (100)
「シンナー」経験・あり	185 (51.2)	181 (50.1)	163 (45.2)	152 (42.1)	361 (100)
無回答	199 (63.0)	157 (49.7)	90 (28.5)	112 (35.4)	316 (100)
男性計	17807 (66.0)	14877 (55.2)	8232 (30.5)	8452 (31.3)	26971 (100)
χ^2	46.49780	7.52169	29.30925	14.73412	
df	1	1	1	1	
p	0.00000	0.00610	0.00000	0.00012	
女 性					
「シンナー」経験・なし	15063 (58.5)	19170 (74.4)	10609 (41.2)	7986 (31.0)	25754 (100)
「シンナー」経験・あり	98 (53.8)	117 (64.3)	96 (52.7)	74 (40.7)	182 (100)
無回答	108 (60.0)	115 (63.9)	78 (43.3)	57 (31.7)	180 (100)
女性計	15269 (58.5)	19402 (74.3)	10783 (41.3)	8117 (31.1)	26116 (100)
χ^2	2.66465	12.88104	7.97163	6.43801	
df	1	1	1	1	
p	0.10260	0.00033	0.00475	0.01117	
全 体					
「シンナー」経験・なし	32486 (62.4)	33709 (64.8)	18588 (35.7)	16174 (31.1)	52048 (100)
「シンナー」経験・あり	283 (52.1)	298 (54.9)	259 (47.7)	226 (41.6)	543 (100)
無回答	307 (61.9)	272 (54.8)	168 (33.9)	169 (34.1)	496 (100)
全 体	33076 (62.3)	34279 (64.6)	19015 (35.8)	16569 (31.2)	53087 (100)
χ^2	34.19428	33.26226	25.38780	21.15479	
df	1	1	1	1	
p	0.00000	0.00000	0.00000	0.00000	

表13 どうして「シンナー遊び」をするのだと思いますか？（複数回答）

	知っている	知らない	無回答	全 体
男 性				
「シナー」経験・なし	16046 (59.9)	10568 (39.5)	166 (0.6)	26780 (100)
「シナー」経験・あり	249 (65.0)	126 (32.9)	8 (2.1)	383 (100)
無回答	187 (54.0)	138 (39.9)	21 (6.1)	346 (100)
男性計	16482 (59.9)	10832 (39.4)	195 (0.7)	27509 (100)
			($\chi^2=5.76756$, $df=1$, $p=0.01632$)	
女 性				
「シナー」経験・なし	16845 (64.6)	9125 (35.0)	118 (0.5)	26088 (100)
「シナー」経験・あり	139 (73.5)	49 (25.9)	1 (0.5)	189 (100)
無回答	120 (58.0)	71 (34.3)	16 (7.7)	207 (100)
女性計	17104 (64.6)	9245 (34.9)	135 (0.5)	26484 (100)
			($\chi^2=6.74722$, $df=1$, $p=0.00939$)	
全 体				
「シナー」経験・なし	32891 (62.2)	19693 (37.2)	284 (0.5)	52868 (100)
「シナー」経験・あり	388 (67.8)	175 (30.6)	9 (1.6)	572 (100)
無回答	307 (55.5)	209 (37.8)	37 (6.7)	553 (100)
全 体	33586 (62.2)	20077 (37.2)	330 (0.6)	53993 (100)
			($\chi^2=9.64709$, $df=1$, $p=0.00190$)	

表14 「シナー遊び」による急性中毒死を知っていますか？

	知っている	知らない	無回答	全 体
男 性				
「シナー」経験・なし	14831 (55.4)	11761 (43.9)	188 (0.7)	26780 (100)
「シナー」経験・あり	252 (65.8)	122 (31.9)	9 (2.3)	383 (100)
無回答	169 (48.8)	155 (44.8)	22 (6.4)	346 (100)
男性計	15252 (55.4)	12038 (43.8)	219 (0.8)	27509 (100)
			($\chi^2=20.15975$, $df=1$, $p=0.00001$)	
女 性				
「シナー」経験・なし	13573 (52.0)	12384 (47.5)	131 (0.5)	26088 (100)
「シナー」経験・あり	134 (70.9)	53 (28.0)	2 (1.1)	189 (100)
無回答	110 (53.1)	81 (39.1)	16 (7.7)	207 (100)
女性計	13817 (52.2)	12518 (47.3)	149 (0.6)	26484 (100)
			($\chi^2=27.92248$, $df=1$, $p=0.00000$)	
全 体				
「シナー」経験・なし	28404 (53.7)	24145 (45.7)	319 (0.6)	52868 (100)
「シナー」経験・あり	386 (67.5)	175 (30.6)	11 (1.9)	572 (100)
無回答	279 (50.5)	236 (42.7)	38 (6.9)	553 (100)
全 体	29069 (53.8)	24556 (45.5)	368 (0.7)	53993 (100)
			($\chi^2=48.67170$, $df=1$, $p=0.00000$)	

表15 「シナー遊び」を繰り返すと、歯がぼろぼろになりやすいことを知っていますか？

回答の分布には、男女ともに統計学的有意差が認められ ($p < 0.01$)、「知っている」と答えた者は、経験者群の方で多かった。

この多発神経炎は有機溶剤乱用による身体的害の中でも最も重篤な害の一つであるが、未経験者群で「知っている」と答えた者の割合は男子で56%、女子で60%であり、多いとは言えない。これも今後の薬物乱用防止教育の課題の一つと言えよう。

(4) 「シンナー」吸引の繰り返しによる有機溶剤精神病について

『シンナー遊び』を繰り返すと、何も無いのに物が見えたり (幻視)、実際には何も聞こえないのに、声が聞こえたり (幻聴)、誰も何とも思っていないのに、人が自分の事を非難していると思ひ込んだり (妄想) する状態 (精神病状態) になることがあるのを知っていますか?」との問いに対する回答の分布を表17に示した。

回答の分布には、女子では有意差が認められ、

経験者群で「知っている」と答えた者が多い傾向が伺われたが、男子および男女合わせた全体では、有意差は認められなかった。

有機溶剤精神病は有機溶剤乱用による害の中で、無動機症候群、フラッシュバックと並んで重篤な害の一つと考えられるが、未経験者群における「知っている」者の割合は、まだまだ高いとは言えない。

(5) 「シンナー」吸引の繰り返しによる無動機症候群について

『シンナー遊び』を繰り返すと、何事にも関心が持てなくなり、結果的に学校を欠席しがちになり、どんな仕事についても長続きしなくなること (無動機症候群) を知っていますか?」との問いに対する回答の分布を表18に示した。

男女ともに回答の分布には有意差が認められ ($P < 0.01$)、「知っている」と答えた者は経験者群の方で多かった。

この無動機症候群は有機溶剤乱用による害の

	知っている	知らない	無回答	全体
男 性				
「シンナー」経験・なし	14987 (56.0)	11555 (43.1)	238 (0.9)	26780 (100)
「シンナー」経験・あり	237 (61.9)	137 (35.8)	9 (2.3)	383 (100)
無回答	163 (47.1)	159 (46.0)	24 (6.9)	346 (100)
男性計	15387 (55.9)	11851 (43.1)	271 (1.0)	27509 (100)
				($\chi^2=7.15434$, $df=1$, $p=0.00748$)
女 性				
「シンナー」経験・なし	15726 (60.3)	10193 (39.1)	169 (0.6)	26088 (100)
「シンナー」経験・あり	134 (70.9)	54 (28.6)	1 (0.5)	189 (100)
無回答	118 (57.0)	72 (34.8)	17 (8.2)	207 (100)
女性計	15978 (60.3)	10319 (39.0)	187 (0.7)	26484 (100)
				($\chi^2=8.80009$, $df=1$, $p=0.00301$)
全 体				
「シンナー」経験・なし	30713 (58.1)	21748 (41.1)	407 (0.8)	52868 (100)
「シンナー」経験・あり	371 (64.9)	191 (33.4)	10 (1.7)	572 (100)
無回答	281 (50.8)	231 (41.8)	41 (7.4)	553 (100)
全 体	31365 (58.1)	22170 (41.1)	458 (0.8)	53993 (100)
				($\chi^2=12.79088$, $df=1$, $p=0.00035$)

表16 「シンナー遊び」を繰り返すと、多発神経炎になることがあるのを知っていますか?

	知っている	知らない	無回答	全 体
男 性				
「シナー」経験・なし	17207 (64.3)	9319 (34.8)	254 (0.9)	26780 (100)
「シナー」経験・あり	250 (65.3)	124 (32.4)	9 (2.3)	383 (100)
無回答	190 (54.9)	134 (38.7)	22 (6.4)	346 (100)
男性計	17647 (64.1)	9577 (34.8)	285 (1.0)	27509 (100)
				($\chi^2=0.63242$, $df=1$, $p=0.42647$)
女 性				
「シナー」経験・なし	17543 (67.2)	8382 (32.1)	163 (0.6)	26088 (100)
「シナー」経験・あり	143 (75.7)	45 (23.8)	1 (0.5)	189 (100)
無回答	114 (55.1)	73 (35.3)	20 (9.7)	207 (100)
女性計	17800 (67.2)	8500 (32.1)	184 (0.7)	26484 (100)
				($\chi^2=6.01907$, $df=1$, $p=0.01415$)
全 体				
「シナー」経験・なし	34750 (65.7)	17701 (33.5)	417 (0.8)	52868 (100)
「シナー」経験・あり	393 (68.7)	169 (29.5)	10 (1.7)	572 (100)
無回答	304 (55.0)	207 (37.4)	42 (7.6)	553 (100)
全 体	35447 (65.7)	18077 (33.5)	469 (0.9)	53993 (100)
				($\chi^2=3.36342$, $df=1$, $p=0.06666$)

表17 「シナー遊び」を繰り返すと、精神病状態になることがあるのを知っていますか？

	知っている	知らない	無回答	全 体
男 性				
「シナー」経験・なし	10033 (37.5)	16340 (61.0)	407 (1.5)	26780 (100)
「シナー」経験・あり	197 (51.4)	170 (44.4)	16 (4.2)	383 (100)
無回答	120 (34.7)	200 (57.8)	26 (7.5)	346 (100)
男性計	10350 (37.6)	16710 (60.7)	449 (1.6)	27509 (100)
				($\chi^2=37.46307$, $df=1$, $p=0.00000$)
女 性				
「シナー」経験・なし	12093 (46.4)	13726 (52.6)	269 (1.0)	26088 (100)
「シナー」経験・あり	117 (61.9)	71 (37.6)	1 (0.5)	189 (100)
無回答	71 (34.3)	115 (55.6)	21 (10.1)	207 (100)
女性計	12281 (46.4)	13912 (52.5)	291 (1.1)	26484 (100)
				($\chi^2=17.76348$, $df=1$, $p=0.00003$)
全 体				
「シナー」経験・なし	22126 (41.9)	30066 (56.9)	676 (1.3)	52868 (100)
「シナー」経験・あり	314 (54.9)	241 (42.1)	17 (3.0)	572 (100)
無回答	191 (34.5)	315 (57.0)	47 (8.5)	553 (100)
全 体	22631 (41.9)	30622 (56.7)	740 (1.4)	53993 (100)
				($\chi^2=45.19304$, $df=1$, $p=0.00000$)

表18 「シナー遊び」を繰り返すと、無動機症候群になることがあるのを知っていますか？

中でも、最も重篤なものと考えられるが、これまでに述べた害の中でも、この無動機症候群についての知識普及率が最も低く、身体への害知識普及に流されやすい薬物乱用防止教育の今後の最大の課題であろうと考えられる。

(6) 有機溶剤精神病後のフラッシュバックについて

『シンナー遊び』の結果、幻視、幻聴、妄想が出るようになってしまうと、それを治療して治っても、その後「シンナー遊び」をやめていても、疲れ・ストレス・飲酒などで、幻視、幻聴、妄想が再出現すること（フラッシュバック）があるのを知っていますか？との問いに対する回答の分布を表19に示した。

回答の分布には男女共に有意差が認められ（ $P < 0.01$ ）、男女共に、この知識が多いのは経験者群の方であった。また、未経験者群での知識の普及率の低さは憂慮すべきものと思われた。

2. 喫煙について

(1) 喫煙経験について

喫煙経験の有無についての結果を表20に示した。

喫煙経験と学年間では、男女ともに有意差が認められ（ $P < 0.01$ ）、学年が進むにしたがって、経験者の割合が増加する傾向が認められた。男子では29.3%（1年生23.4%、2年生29.8%、3年生34.6%）であり、女子では23.1%（1年生12.6%、2年生17.8%、3年生19.8%）であった。全体では1年生で18.1%、2年生で23.9%、3年生で27.4%であった。

(2) 喫煙と「シンナー遊び」

「シンナー遊び」の経験の有無と、喫煙の経験との関係を表21に示した。

「シンナー遊び」の経験の有無と喫煙経験との間には、男女共に有意差が認められた（ $P < 0.01$ ）。つまり、喫煙経験は、経験者群に有意に多

	知っている	知らない	無回答	全体
男性				
「シンナー」経験・なし	7945 (29.7)	18537 (69.2)	298 (1.1)	26780 (100)
「シンナー」経験・あり	180 (47.0)	193 (50.4)	10 (2.6)	383 (100)
無回答	88 (25.4)	235 (67.9)	23 (6.6)	346 (100)
男性計	8213 (29.9)	18965 (68.9)	331 (1.2)	27509 (100)
				($\chi^2=58.09360, df=1, p=0.00000$)
女性				
「シンナー」経験・なし	7870 (30.2)	18008 (69.0)	210 (0.8)	26088 (100)
「シンナー」経験・あり	98 (51.9)	88 (46.6)	3 (1.6)	189 (100)
無回答	47 (22.7)	142 (68.6)	18 (8.7)	207 (100)
女性計	8015 (30.3)	18238 (68.9)	231 (0.9)	26484 (100)
				($\chi^2=43.17542, df=1, p=0.00000$)
全体				
「シンナー」経験・なし	15815 (29.9)	36545 (69.1)	508 (1.0)	52868 (100)
「シンナー」経験・あり	278 (48.6)	281 (49.1)	13 (2.3)	572 (100)
無回答	135 (24.4)	377 (68.2)	41 (7.4)	553 (100)
全体	16228 (30.1)	37203 (68.9)	562 (1.0)	53993 (100)
				($\chi^2=99.65895, df=1, p=0.00000$)

表19 「シンナー遊び」の結果、フラッシュバックが起こることがあるのを知っていますか？

	1年生	2年生	3年生	全 体
男性				
なし	6776 (75.6)	6492 (69.2)	5915 (64.5)	19183 (69.7)
あり	2095 (23.4)	2793 (29.8)	3171 (34.6)	8059 (29.3)
無回答	93 (1.0)	92 (1.0)	82 (0.9)	267 (1.0)
男性計	8964 (100)	9377 (100)	9168 (100)	27509 (100)
				($\chi^2=276.01270$, $df=2$, $p=0.00000$)
女性				
なし	7571 (86.6)	7346 (81.4)	6936 (79.5)	21853 (82.5)
あり	1103 (12.6)	1606 (17.8)	1724 (19.8)	4433 (16.7)
無回答	64 (0.7)	69 (0.8)	65 (0.7)	198 (0.7)
女性計	8738 (100)	9021 (100)	8725 (100)	26484 (100)
				($\chi^2=171.05251$, $df=2$, $p=0.00000$)
全 体				
なし	14347 (81.0)	13838 (75.2)	12851 (71.8)	41036 (76.0)
あり	3198 (18.1)	4399 (23.9)	4895 (27.4)	12492 (23.1)
無回答	157 (0.9)	161 (0.9)	147 (0.8)	465 (0.9)
全 体	17702 (100)	18398 (100)	17893 (100)	53993 (100)
				($\chi^2=441.18059$, $df=2$, $p=0.00000$)

表20 喫煙経験・頻度

	喫煙なし	喫煙あり	無回答	全 体
男 性				
「シナ」経験・なし	18966 (70.8)	7635 (28.5)	179 (0.7)	26780 (100)
「シナ」経験・あり	77 (20.1)	302 (78.9)	4 (1.0)	383 (100)
無回答	140 (40.5)	122 (35.3)	84 (24.3)	346 (100)
男性計	19183 (69.7)	8059 (29.3)	267 (1.0)	27509 (100)
				($\chi^2=467.74776$, $df=1$, $p=0.00000$)
女 性				
「シナ」経験・なし	21715 (83.2)	4244 (16.3)	129 (0.5)	26088 (100)
「シナ」経験・あり	51 (27.0)	135 (71.4)	3 (1.6)	189 (100)
無回答	87 (42.0)	54 (26.1)	66 (31.9)	207 (100)
女性計	21853 (82.5)	4433 (16.7)	198 (0.7)	26484 (100)
				($\chi^2=418.79333$, $df=1$, $p=0.00000$)
全 体				
「シナ」経験・なし	40681 (76.9)	11879 (22.5)	308 (0.6)	52868 (100)
「シナ」経験・あり	128 (22.4)	437 (76.4)	7 (1.2)	572 (100)
無回答	227 (41.0)	176 (31.8)	150 (27.1)	553 (100)
全 体	41036 (76.0)	12492 (23.1)	465 (0.9)	53993 (100)
				($\chi^2=940.70805$, $df=1$, $p=0.00000$)

表21 喫煙経験と「シンナー遊び」

い。「シンナー遊び」未経験者群では、男子で71%、女子で83%の者が喫煙未経験であるのに対して、経験者群では、逆に男子の79%、女子の71%が喫煙経験者であった。

これらは中学生にとって、「シンナー遊び」と喫煙とは強い繋がりがあることを強く示唆している。喫煙防止教育の際には、この点も強調すべき必要があることを示している。

飲酒経験者の割合は、機会に関わらず、男女ともに、学年が進むにつれて、増加していた。

機会別では、男女ともに「冠婚葬祭時」「家で親と一緒に」での飲酒経験率が最も高いが、「何人かの仲間といる時」での飲酒経験率が、3年生男子では約24%、3年生女子では約20%になっていることは注意を要する。

(2) 「シンナー遊び」と飲酒について

3. 飲酒について

(1) 飲酒の経験・機会について

飲酒の経験を機会に分けて調べた。結果は表22に示した。

「シンナー遊び」の経験の有無と飲酒経験・飲酒機会との関係を表23示した。

男女共に、飲酒経験のない者は「シンナー遊び」未経験者群で有意 ($p < 0.01$) に多かった。

逆に、男女ともに、すべての機会に経験者群の方で、飲酒経験率は高かった。しかし、男子

	飲酒経験あり							全体
	飲んだことなし	冠婚葬祭の際	親と一緒に	クラス会の際	風呂上がりに	仲間と一緒に	その他の機会	
男性								
1年生	2628(29.5)	3230(36.3)	3704(41.6)	307(3.4)	477(5.4)	685(7.7)	291(3.3)	8910(100)
2年生	2449(26.3)	3467(37.2)	4278(45.9)	395(4.2)	635(6.8)	1320(14.2)	234(2.5)	9325(100)
3年生	1986(21.7)	3655(40.0)	4336(47.5)	581(6.4)	892(9.8)	2151(23.6)	207(2.3)	9132(100)
男性計	7063(25.8)	10352(37.8)	12318(45.0)	1283(4.7)	2004(7.3)	4156(15.2)	732(2.7)	27367(100)
χ^2	140.63309	31.00899	69.51839	92.98672	135.94432	896.28024	628.73983	
df	2	2	2	2	2	2	2	
p	0.00000	0.00000	0.00000	0.00000	0.00000	0.00000	0.00009	
女性								
1年生	3428(39.4)	2816(32.4)	3331(38.3)	218(2.5)	401(4.6)	641(7.4)	201(2.3)	8704(100)
2年生	2972(33.2)	3047(34.0)	4099(45.7)	288(3.2)	585(6.5)	1128(12.6)	171(1.9)	8961(100)
3年生	2490(28.6)	3109(35.8)	4144(47.7)	456(5.2)	677(7.8)	1758(20.2)	135(1.6)	8692(100)
女性計	8890(33.7)	8972(34.0)	11574(43.9)	962(3.6)	1663(6.3)	3527(13.4)	507(1.9)	26357(100)
χ^2	226.19414	22.67335	172.72186	100.61628	75.53780	628.73983	13.20954	
df	2	2	2	2	2	2	2	
p	0.00000	0.00000	0.00000	0.00000	0.00000	0.00000	0.00135	
全体								
1年生	6056(34.4)	6046(34.3)	7035(39.9)	525(3.0)	878(5.0)	1326(7.5)	492(2.8)	17614(100)
2年生	5421(29.6)	6514(35.6)	8377(45.8)	683(3.7)	1220(6.7)	2448(13.4)	405(2.2)	18286(100)
3年生	4476(25.1)	6764(37.9)	8480(47.6)	1037(5.8)	1569(8.8)	3909(21.9)	342(1.9)	17824(100)
全体	15953(29.7)	19324(36.0)	23892(44.5)	2245(4.2)	3667(6.8)	7683(14.3)	1239(2.3)	53724(100)
χ^2	361.54412	53.32366	229.77347	192.71423	192.71423	192.71423	30.98743	
df	2	2	2	2	2	2	2	
p	0.00000	0.00000	0.00000	0.00000	0.00000	0.00000	0.00000	

表22 飲酒の経験・機会（複数回答）

の「冠婚葬祭時」では、経験者群・非経験者群間で、有意差を認めず、飲酒と冠婚葬祭との結びつきの強さを示していると考えられた。

また、「クラス会、打ち上げ、コンパの際」「風呂上がり」「何人かの仲間といる時」など、親が

同伴しない時の飲酒経験率は、経験者群で圧倒的に高かった。特に、「何人かの仲間といる時」の飲酒経験率は、経験者群の男子では約50%、女子では約58%と高く、「仲間」の存在とその影響力の大きさを物語っていると解釈された。

		飲酒経験あり							
		飲んだことなし	冠婚葬祭の際	親と一緒に	クラス会の際	風呂上がりに	仲間と一緒に	その他の機会	全体
男性									
「シナー」経験・なし	7003 (26.2)	10085 (37.8)	11983 (44.9)	1196 (4.5)	1868 (7.0)	3912 (14.7)	693 (2.6)	26695 (100)	
「シナー」経験・あり	18 (4.7)	147 (38.5)	204 (53.4)	74 (19.4)	111 (29.1)	192 (50.3)	11 (2.9)	382 (100)	
無回答	42 (14.5)	120 (41.4)	131 (45.2)	13 (4.5)	25 (8.6)	52 (17.9)	28 (9.7)	290 (100)	
男性計	7063 (25.8)	10352 (37.8)	12318 (45.0)	1283 (4.7)	2004 (7.3)	4156 (15.2)	732 (2.7)	27367 (100)	
χ^2	90.647	0.084	11.075	186.962	270.716	371.492	0.121		
df	1	1	1	1	1	1	1		
p	0.00000	0.77201	0.00088	0.00000	0.00000	0.00000	0.72806		
女性									
「シナー」経験・なし	8842 (34.0)	8828 (34.0)	11387 (43.8)	908 (3.5)	1613 (6.2)	3387 (13.0)	492 (1.9)	26001 (100)	
「シナー」経験・あり	11 (5.8)	83 (43.9)	111 (58.7)	45 (23.8)	38 (20.1)	110 (58.2)	4 (2.1)	189 (100)	
無回答	37 (22.2)	61 (36.5)	76 (45.5)	9 (5.4)	12 (7.2)	30 (18.0)	11 (6.6)	167 (100)	
女性計	8890 (33.7)	8972 (34.0)	11574 (43.9)	962 (3.6)	1663 (6.3)	3527 (13.4)	507 (1.9)	26357 (100)	
χ^2	66.193	8.500	17.343	221.863	61.773	332.547	0.054		
df	1	1	1	1	1	1	1		
p	0.00000	0.00355	0.00003	0.00000	0.00000	0.00000	0.81654		
全体									
「シナー」経験・なし	15845 (30.1)	18913 (35.9)	23370 (44.3)	2104 (4.0)	3481 (6.6)	7299 (13.9)	1185 (2.2)	52696 (100)	
「シナー」経験・あり	29 (5.1)	230 (40.3)	315 (55.2)	119 (20.8)	149 (26.1)	302 (52.9)	15 (2.6)	571 (100)	
無回答	79 (17.3)	181 (39.6)	207 (45.3)	22 (4.8)	37 (8.1)	82 (17.9)	39 (8.5)	457 (100)	
全体	15953 (29.7)	19324 (36.0)	23892 (44.5)	2245 (4.2)	3667 (6.8)	7683 (14.3)	1239 (2.3)	53724 (100)	
χ^2	168.037	4.843	27.072	401.777	338.629	705.149	0.374		
df	1	1	1	1	1	1	1		
p	0.00000	0.02776	0.00000	0.00000	0.00000	0.00000	0.54077		

表23 飲酒の経験・機会と「シナー遊び」(複数回答)

4. その他の薬物の使用経験と使用についての意識について

そのような回答は無回答扱いにしたが、何も記載せずに、同様の意味で「使用経験あり」とした者もいると見られ、信頼性に強い疑問が残る。今回の結果はあくまでも参考データである。

(1) 大麻乱用の生涯経験率について

各学年・性別毎に大麻乱用の生涯経験率（これまで1回でも乱用したことのある率）を表24に示した。

男子では学年による経験率の違いに有意差（ $p < 0.01$ ）が認められたが、女子では認められなかった。生涯経験率は男子では1年生で0.4%、2年生で0.7%、3年生で0.8%であり、女子では1年生～3年生まですべて、0.3%であった。全体では、1年生で0.4%、2年生で0.5%、3年生で0.6%であった。

ただし、この設問には「大麻（マリファナ、ハシッシ、チョコ、ハッパも同じものです）」と注を入れたことが災いし、「お菓子としての『チョコ』を食べたことがある」と記載した者もあり、

(2) 「シンナー遊び」と大麻乱用との関係

「シンナー遊び」の経験と大麻乱用経験との関係を表25に示した。

結果には男女ともに有意差（ $p < 0.01$ ）が認められ、「シンナー遊び」未経験者では、男子で0.3%、女子で0.2%の者が大麻乱用の経験があると答えたのに対して、経験者群では、男子で25.6%、女子で19.6%の者が大麻乱用の経験があると答えた。

(3) 大麻乱用についての意識

「大麻を吸うことをどう思いますか？」との問いに対する回答を表26に示した。

「シンナー遊び」未経験者群では、男女とも

	1年生	2年生	3年生	全体
男 性				
なし	8767 (97.8)	9154 (97.6)	8962 (97.8)	26883 (97.7)
あり	39 (0.4)	70 (0.7)	77 (0.8)	186 (0.7)
無回答	158 (1.8)	153 (1.6)	129 (1.4)	440 (1.6)
男性計	8964 (100)	9377 (100)	9168 (100)	27509 (100)
			($\chi^2=11.98900$, $df=2$, $p=0.00249$)	
女 性				
なし	8605 (98.5)	8898 (98.6)	8614 (98.7)	26117 (98.6)
あり	29 (0.3)	28 (0.3)	28 (0.3)	85 (0.3)
無回答	104 (1.2)	95 (1.1)	83 (1.0)	282 (1.1)
女性計	8738 (100)	9021 (100)	8725 (100)	26484 (100)
			($\chi^2=0.06690$, $df=2$, $p=0.96710$)	
全 体				
なし	17372 (98.1)	18052 (98.1)	17576 (98.2)	53000 (98.2)
あり	68 (0.4)	98 (0.5)	105 (0.6)	271 (0.5)
無回答	262 (1.5)	248 (1.3)	212 (1.2)	722 (1.3)
全 体	17702 (100)	18398 (100)	17893 (100)	53993 (100)
			($\chi^2=7.74587$, $df=2$, $p=0.02080$)	

表24 大麻の経験・頻度

	なし	あり	無回答	全体
男性				
「シナー」経験・なし	26377 (98.5)	83 (0.3)	320 (1.2)	26780 (100)
「シナー」経験・あり	268 (70.0)	98 (25.6)	17 (4.4)	383 (100)
無回答	238 (68.8)	5 (1.4)	103 (29.8)	346 (100)
男性計	26883 (97.7)	186 (0.7)	440 (1.6)	27509 (100)
($\chi^2=3772.13226$, $df=1$, $p=0.00000$)				
女性				
「シナー」経験・なし	25827 (99.0)	45 (0.2)	216 (0.8)	26088 (100)
「シナー」経験・あり	147 (77.8)	37 (19.6)	5 (2.6)	189 (100)
無回答	143 (69.1)	3 (1.4)	61 (29.5)	207 (100)
女性計	26117 (98.6)	85 (0.3)	282 (1.1)	26484 (100)
($\chi^2=2314.32854$, $df=1$, $p=0.00000$)				
全体				
「シナー」経験・なし	52204 (98.7)	128 (0.2)	536 (1.0)	52868 (100)
「シナー」経験・あり	415 (72.6)	135 (23.6)	22 (3.8)	572 (100)
無回答	381 (68.9)	8 (1.4)	164 (29.7)	553 (100)
全体	53000 (98.2)	271 (0.5)	722 (1.3)	53993 (100)
($\chi^2=6495.05638$, $df=1$, $p=0.00000$)				

表25 大麻の経験・頻度と「シナー遊び」

	吸うべきでない	少々ならかまわない	全くかまわない	無回答	全体
男性					
「シナー」経験・なし	25102 (93.7)	588 (2.2)	743 (2.8)	347 (1.3)	26780 (100)
「シナー」経験・あり	218 (56.9)	48 (12.5)	97 (25.3)	20 (5.2)	383 (100)
無回答	282 (81.5)	10 (2.9)	19 (5.5)	35 (10.1)	346 (100)
男性計	25602 (93.1)	646 (2.3)	859 (3.1)	402 (1.5)	27509 (100)
($\chi^2=881.76537$, $df=2$, $p=0.00000$)					
女性					
「シナー」経験・なし	24992 (95.8)	535 (2.1)	325 (1.2)	236 (0.9)	26088 (100)
「シナー」経験・あり	121 (64.0)	32 (16.9)	32 (16.9)	4 (2.1)	189 (100)
無回答	169 (81.6)	11 (5.3)	5 (2.4)	22 (10.6)	207 (100)
女性計	25282 (95.5)	578 (2.2)	362 (1.4)	262 (1.0)	26484 (100)
($\chi^2=558.89318$, $df=2$, $p=0.00000$)					
全体					
「シナー」経験・なし	50094 (94.8)	1123 (2.1)	1068 (2.0)	583 (1.1)	52868 (100)
「シナー」経験・あり	339 (59.3)	80 (14.0)	129 (22.6)	24 (4.2)	572 (100)
無回答	451 (81.6)	21 (3.8)	24 (4.3)	57 (10.3)	553 (100)
全体	50884 (94.2)	1224 (2.3)	1221 (2.3)	664 (1.2)	53993 (100)
($\chi^2=1540.90433$, $df=2$, $p=0.00000$)					

表26 大麻を吸うことをどう思いますか？

にほとんどの者が「吸うべきではないと思う」を選択したのに対して、経験者群では、男子で約38%、女子で約34%の者が「麻薬・覚せい剤とちがって、少々ならかまわないと思う」「まったくかまわないと思う」と答え、両群で有意差 ($p < 0.01$) が認められた。

「また、「大麻を吸うと、精神病状態や無動機症候群になることがあるのを知っていますか？」との問いに対する回答の分布を表27に示した。ここでも経験者群の方で「知っている」と答えた者の割合が男女ともに有意 ($p < 0.01$) に高かった。

(3) 覚せい剤の生涯経験率について

覚せい剤の生涯経験率（これまでに1回でも経験したことのある率）を表28に示した。

覚せい剤の生涯経験率は、男子では0.4%（1年生0.3%、2年生0.4%、3年生0.5%）で、女子では0.2%（1年生0.3%、2年生0.2%、3年生0.3%）であった。学年による統計学的有意差は男子にのみ認められた ($p < 0.05$)。

められた ($p < 0.05$)。

しかし、ここでも設問に「覚せい剤（スピード、エス、アイスも同じものです）」と注をつけたのが災いして、「お菓子としての『アイス』を食べたことがある」と記載した者もあり、そのような回答は無回答扱いにしたが、何も記載せずに、同様の意味合いで「使用経験あり」と回答した者もいるとみられ、信頼性に強く疑いもたれる結果となった。今回はあくまでも参考データとして掲載した。

(4) 「シンナー遊び」と覚せい剤乱用経験との関係

「シンナー遊び」の経験と覚せい剤乱用経験との関係を表29に示した。

「シンナー遊び」未経験者のほとんどが覚せい剤乱用経験はないと答えたのに対して、経験者群では男子の約16%、女子の18%が覚せい剤乱用の経験があると答えた。両群では統計学的有意差が認められた ($p < 0.01$)。

	知っている	知らない	無回答	全体
男 性				
「シンナー」経験・なし	12943 (48.3)	13208 (49.3)	629 (2.3)	26780 (100)
「シンナー」経験・あり	211 (55.1)	151 (39.4)	21 (5.5)	383 (100)
無回答	129 (37.3)	180 (52.0)	37 (10.7)	346 (100)
男性計	13283 (48.3)	13539 (49.2)	687 (2.5)	27509 (100)
				($\chi^2=11.04571, df=1, p=0.00089$)
女 性				
「シンナー」経験・なし	11813 (45.3)	13920 (53.4)	355 (1.4)	26088 (100)
「シンナー」経験・あり	121 (64.0)	59 (31.2)	9 (4.8)	189 (100)
無回答	81 (39.1)	107 (51.7)	19 (9.2)	207 (100)
女性計	12015 (45.4)	14086 (53.2)	383 (1.4)	26484 (100)
				($\chi^2=32.69170, df=1, p=0.00000$)
全 体				
「シンナー」経験・なし	24756 (46.8)	27128 (51.3)	984 (1.9)	52868 (100)
「シンナー」経験・あり	332 (58.0)	210 (36.7)	30 (5.2)	572 (100)
無回答	210 (38.0)	287 (51.9)	56 (10.1)	553 (100)
全 体	25298 (46.9)	27625 (51.2)	1070 (2.0)	53993 (100)
				($\chi^2=39.41077, df=1, p=0.00000$)

表27 大麻を吸うと精神病状態や無動機症候群になることがあるのを知っていますか？

	1年生	2年生	3年生	全 体
男 性				
なし	8772 (97.9)	9182 (97.9)	8971 (97.9)	26925 (97.9)
あり	24 (0.3)	39 (0.4)	48 (0.5)	111 (0.4)
無回答	168 (1.9)	156 (1.7)	149 (1.6)	473 (1.7)
男性計	8964 (100)	9377 (100)	9168 (100)	27509 (100)
			(χ ² =7.37845, df=2, p=0.02499)	
女 性				
なし	8593 (98.3)	8893 (98.6)	8610 (98.7)	26096 (98.5)
あり	23 (0.3)	20 (0.2)	22 (0.3)	65 (0.2)
無回答	122 (1.4)	108 (1.2)	93 (1.1)	323 (1.2)
女性計	8738 (100)	9021 (100)	8725 (100)	26484 (100)
			(χ ² =0.34141, df=2, p=0.84307)	
全 体				
なし	17365 (98.1)	18075 (98.2)	17581 (98.3)	53021 (98.2)
あり	47 (0.3)	59 (0.3)	70 (0.4)	176 (0.3)
無回答	290 (1.6)	264 (1.4)	242 (1.4)	796 (1.5)
全 体	17702 (100)	18398 (100)	17893 (100)	53993 (100)
			(χ ² =4.28886, df=2, p=0.11713)	

表28 覚せい剤の乱用経験（生涯経験率）

	なし	あり	無回答	全 体
男 性				
「シナー」経験・なし	26381 (98.5)	47 (0.2)	352 (1.3)	26780 (100)
「シナー」経験・あり	305 (79.6)	60 (15.7)	18 (4.7)	383 (100)
無回答	239 (69.1)	4 (1.2)	103 (29.8)	346 (100)
男性計	26925 (97.9)	111 (0.4)	473 (1.7)	27509 (100)
			(χ ² =2393.20451, df=1, p=0.00000)	
女 性				
「シナー」経験・なし	25801 (98.9)	30 (0.1)	257 (1.0)	26088 (100)
「シナー」経験・あり	150 (79.4)	34 (18.0)	5 (2.6)	189 (100)
無回答	145 (70.0)	1 (0.5)	61 (29.5)	207 (100)
女性計	26096 (98.5)	65 (0.2)	323 (1.2)	26484 (100)
			(χ ² =2510.12013, df=1, p=0.00000)	
全 体				
「シナー」経験・なし	52182 (98.7)	77 (0.1)	609 (1.2)	52868 (100)
「シナー」経験・あり	455 (79.5)	94 (16.4)	23 (4.0)	572 (100)
無回答	384 (69.4)	5 (0.9)	164 (29.7)	553 (100)
全 体	53021 (98.2)	176 (0.3)	796 (1.5)	53993 (100)
			(χ ² =4850.09207, df=1, p=0.00000)	

表29 覚せい剤乱用の経験と「シナー遊び」

(5) 覚せい剤乱用による害知識について

「覚せい剤を使うと、精神病状態になりやすく、またフラッシュバックがあることを知っていますか？」との問いに対する回答の分布を表30に示した。

ここでも経験者群の方で、男女ともに「知っている」と答えた者が有意 ($p < 0.01$) に多かった。

5. ドーピングについて

「ボディービルディングや運動能力の改善のために、ステロイド剤を使うこと（ドーピング）をどう思いますか？」との問いに対する回答の分布を表31に示した。

「薬物のことをよく知らないので何とも言えない」と答えた者が少なからずいたが、非経験者群では、男子で約48%、女子で約43%の者が「反対だ」「絶対に反対だ」を選んだのに対して、経

験者群では、男子で約44%、女子で約40%の者が「かまわないと思う」を選んだ。両群では、男女ともに有意差 ($p < 0.01$) が認められた。

6. 日常生活の規則性について

(1) 起床時間について

「起床時間は、ほぼ一定していますか？」との問いに対する回答の分布を表32に示した。

男女ともに、非経験者群では80%台の者が一定していると答えたのに対して、経験者群では、約40%近くの者が一定していないと答えた。男女共に、経験者群の起床時間は非経験者群のそれに比べて、有意 ($p < 0.01$) に乱れていた。

(2) 就床時間について

「就床時間は、ほぼ一定していますか？」との問いに対する回答の分布を表33に示した。

	知っている	知らない	無回答	全 体
男 性				
「シナ」経験・なし	11375 (42.5)	15080 (56.3)	325 (1.2)	26780 (100)
「シナ」経験・あり	196 (51.2)	167 (43.6)	20 (5.2)	383 (100)
無回答	118 (34.1)	200 (57.8)	28 (8.1)	346 (100)
男性計	11689 (42.5)	15447 (56.2)	373 (1.4)	27509 (100)
				($\chi^2=17.65346, df=1, p=0.00003$)
女 性				
「シナ」経験・なし	12124 (46.5)	13750 (52.7)	214 (0.8)	26088 (100)
「シナ」経験・あり	115 (60.8)	73 (38.6)	1 (0.5)	189 (100)
無回答	78 (37.7)	109 (52.7)	20 (9.7)	207 (100)
女性計	12317 (46.5)	13932 (52.6)	235 (0.9)	26484 (100)
				($\chi^2=15.34983, df=1, p=0.00009$)
全 体				
「シナ」経験・なし	23499 (44.4)	28830 (54.5)	539 (1.0)	52868 (100)
「シナ」経験・あり	311 (54.4)	240 (42.0)	21 (3.7)	572 (100)
無回答	196 (35.4)	309 (55.9)	48 (8.7)	553 (100)
全 体	24006 (44.5)	29379 (54.4)	608 (1.1)	53993 (100)
				($\chi^2=29.31798, df=1, p=0.00000$)

表30 覚せい剤を使うと、精神病状態になりやすく、またフラッシュバックがあることを知っていますか？

	かまわない	反対	絶対反対	薬物の事を 知らない	無回答	全 体
男 性						
「シナー」経験・なし	4513(16.9)	5930(22.1)	6933(25.9)	9138(34.1)	266(1.0)	26780(100)
「シナー」経験・あり	168(43.9)	50(13.1)	78(20.4)	76(19.8)	11(2.9)	383(100)
無回答	55(15.9)	79(22.8)	79(22.8)	107(30.9)	26(7.5)	346(100)
男性計	4736(17.2)	6059(22.0)	7090(25.8)	321(33.9)	303(11.0)	27509(100)
						($\chi^2=143.14197$, $df=2$, $p=0.00000$)
女 性						
「シナー」経験・なし	1929(7.4)	5494(21.1)	5805(22.3)	12566(48.2)	294(1.1)	26088(100)
「シナー」経験・あり	75(39.7)	30(15.9)	23(12.2)	57(30.2)	4(2.1)	189(100)
無回答	21(10.1)	47(22.7)	42(20.3)	77(37.2)	20(9.7)	207(100)
女性計	2025(7.6)	5571(21.0)	5870(22.2)	12700(48.0)	318(1.2)	26484(100)
						($\chi^2=193.20404$, $df=2$, $p=0.00000$)
全 体						
「シナー」経験・なし	6442(12.2)	11424(21.6)	12738(24.1)	21704(41.1)	560(1.1)	52868(100)
「シナー」経験・あり	243(42.5)	80(14.0)	101(17.7)	133(23.3)	15(2.6)	572(100)
無回答	76(13.7)	126(22.8)	121(21.9)	184(33.3)	46(8.3)	553(100)
全 体	6761(12.5)	11630(21.5)	12960(24.0)	22021(40.8)	621(1.2)	53993(100)
						($\chi^2=325.70230$, $df=2$, $p=0.00000$)

表31 ボディービルディングや運動機能の改善のために、ステロイド剤を使うこと(ドーピング)をどう思いますか？

	は い	い い え	無回答	全 体
男 性				
「シナー」経験・なし	21790 (81.4)	4922 (18.4)	68 (0.3)	26780 (100)
「シナー」経験・あり	244 (63.7)	136 (35.5)	3 (0.8)	383 (100)
無回答	265 (76.6)	75 (21.7)	6 (1.7)	346 (100)
全 体	22299 (81.1)	5133 (18.7)	77 (0.3)	27509 (100)
				($\chi^2=74.39151$, $df=1$, $p=0.00000$)
女 性				
「シナー」経験・なし	22590 (86.6)	3430 (13.1)	68 (0.3)	26088 (100)
「シナー」経験・あり	115 (60.8)	71 (37.6)	3 (1.6)	189 (100)
無回答	171 (82.6)	31 (15.0)	5 (2.4)	207 (100)
全 体	22876 (86.4)	3532 (13.3)	76 (0.3)	26484 (100)
				($\chi^2=99.64042$, $df=1$, $p=0.00000$)
全 体				
「シナー」経験・なし	44380 (83.9)	8352 (15.8)	136 (0.3)	52868 (100)
「シナー」経験・あり	359 (62.8)	207 (36.2)	6 (1.0)	572 (100)
無回答	436 (78.8)	106 (19.2)	11 (2.0)	553 (100)
全 体	45175 (83.7)	8665 (16.0)	153 (0.3)	53993 (100)
				($\chi^2=178.58811$, $df=1$, $p=0.00000$)

表32 起床時間は、ほぼ一定していますか？

男女ともに、非経験者群では50%台の者が一定していると答えたのに対して、経験者群では、約60%台の者が一定していないと答えた。

男女共に、経験者群の就床時間は非経験者群のそれに比べて、有意 ($p < 0.01$) に乱れていた。

(3)朝食について

「毎朝、朝食を食べていますか？」との問いに対する回答の分布を表34に示した。

非経験者群では男女ともに80%の者が「ほとんど毎日食べている」と答えたのに対して、非経験者群では、男女ともに「ほとんど毎日食べている」と答えた者は60%前後であった。

男女共に、経験者群では、非経験者群に比べて、朝食頻度が有意 ($p < 0.01$) に低かった。

7. 学校生活について

(1)学校生活について

「あなたにとって、学校生活は次のどれですか？」との問いに対する回答を表35に示した。

男女共に、経験者群と非経験者群とでは、回答の分布に有意差 ($p < 0.01$) が認められ、「全く楽しくない」と答えた者は、非経験者群では男子で約5%、女子で約3%であったが、経験者群では男女ともに約19%であった。経験者群に「楽しくない」傾向の者が多いと解釈される。

(2)クラブ活動について

「放課後のクラブ活動に参加していますか？」との問いに対する回答の分布を表36に示した。

男女共に、経験者群と非経験者群との間には、回答の分布に有意差 ($p < 0.01$) が認められ、非経験者群で「参加していない」と答えた者は男子で約20%、女子で約18%であったのに対して、経験者群では、男子で約33%、女子で約38%の者が「参加していない」と答えた。

経験者群で、放課後のクラブ活動に参加していない者の割合が高い傾向にあると解釈される。

	はい	いいえ	無回答	全体
男 性				
「シナ」経験・なし	14109 (52.7)	12528 (46.8)	143 (0.5)	26780 (100)
「シナ」経験・あり	139 (36.3)	240 (62.7)	4 (1.0)	383 (100)
無回答	173 (50.0)	164 (47.4)	9 (2.6)	346 (100)
全 体	14421 (52.4)	12932 (47.0)	156 (0.6)	27509 (100)
($\chi^2=39.79505$, $df=1$, $p=0.00000$)				
女 性				
「シナ」経験・なし	14311 (54.9)	11685 (44.8)	92 (0.4)	26088 (100)
「シナ」経験・あり	61 (32.3)	124 (65.6)	4 (2.1)	189 (100)
無回答	114 (55.1)	88 (42.5)	5 (2.4)	207 (100)
全 体	14486 (54.7)	11897 (44.9)	101 (0.4)	26484 (100)
($\chi^2=36.16146$, $df=1$, $p=0.00000$)				
全 体				
「シナ」経験・なし	28420 (53.8)	24213 (45.8)	235 (0.4)	52868 (100)
「シナ」経験・あり	200 (35.0)	364 (63.6)	8 (1.4)	572 (100)
無回答	287 (51.9)	252 (45.6)	14 (2.5)	553 (100)
全 体	28907 (53.5)	24829 (46.0)	257 (0.5)	53993 (100)
($\chi^2=77.13239$, $df=1$, $p=0.00000$)				

表33 就寝時間は、ほぼ一定していますか？

	ほとんど毎日食 べる	時々食べる	ほとんど食べ ない	無回答	全 体
男 性					
「シナ」 経験・なし	22075 (82.4)	2911 (10.9)	1731 (6.5)	63 (0.2)	26780 (100)
「シナ」 経験・あり	234 (61.1)	82 (21.4)	62 (16.2)	5 (1.3)	383 (100)
無回答	268 (77.5)	48 (13.9)	28 (8.1)	2 (0.6)	346 (100)
全 体	22577 (82.1)	3041 (11.1)	1821 (6.6)	70 (0.3)	27509 (100)
	($\chi^2=114.23566$, $df=2$, $p=0.00000$)				
女 性					
「シナ」 経験・なし	22042 (84.5)	2736 (10.5)	1253 (4.8)	57 (0.2)	26088 (100)
「シナ」 経験・あり	113 (59.8)	37 (19.6)	39 (20.6)	0 (0.0)	189 (100)
無回答	168 (81.2)	24 (11.6)	13 (6.3)	2 (1.0)	207 (100)
全 体	22323 (84.3)	2797 (10.6)	1305 (4.9)	59 (0.2)	26484 (100)
	($\chi^2=123.65716$, $df=2$, $p=0.00000$)				
全 体					
「シナ」 経験・なし	44117 (83.4)	5647 (10.7)	2984 (5.6)	120 (0.2)	52868 (100)
「シナ」 経験・あり	347 (60.7)	119 (20.8)	101 (17.7)	5 (0.9)	572 (100)
無回答	436 (78.8)	72 (13.0)	41 (7.4)	4 (0.7)	553 (100)
全 体	44900 (83.2)	5838 (10.8)	3126 (5.8)	129 (0.2)	53993 (100)
	($\chi^2=231.95766$, $df=2$, $p=0.00000$)				

表34 毎朝、朝食を食べますか？

	とても 楽しい	どちらかと 言えば楽しい	あまり 楽しくない	まったく 楽しくない	無回答	全 体
男 性						
「シナ」 経験・なし	7673 (28.7)	3680 (51.1)	4146 (15.5)	1250 (4.7)	31 (0.1)	26780(100)
「シナ」 経験・あり	98 (25.6)	135 (35.2)	76 (19.8)	72 (18.8)	2 (0.5)	383(100)
無回答	91 (26.3)	168 (48.6)	64 (18.5)	18 (5.2)	5 (1.4)	346(100)
全 体	7862 (28.6)	13983 (50.8)	4286 (15.6)	1340 (4.9)	38 (0.1)	27509(100)
	($\chi^2=180.11540$, $df=3$, $p=0.00000$)					
女 性						
「シナ」 経験・なし	9044 (34.7)	12208 (46.8)	3948 (15.1)	835 (3.2)	53 (0.2)	26088(100)
「シナ」 経験・あり	54 (28.6)	63 (33.3)	36 (19.0)	36 (19.0)	0 (0.0)	189(100)
無回答	58 (28.0)	89 (43.0)	40 (19.3)	15 (7.2)	5 (2.4)	207(100)
全 体	9156 (34.6)	12360 (46.7)	4024 (15.2)	886 (3.3)	58 (0.2)	26484(100)
	($\chi^2=153.04298$, $df=3$, $p=0.00000$)					
全 体						
「シナ」 経験・なし	16717 (31.6)	25888 (49.0)	8094 (15.3)	2085 (3.9)	84 (0.2)	52868(100)
「シナ」 経験・あり	152 (26.6)	198 (34.6)	112 (19.6)	108 (18.9)	2 (0.3)	572(100)
無回答	149 (26.9)	257 (46.5)	104 (18.8)	33 (6.0)	10 (1.8)	553(100)
全 体	17018 (31.5)	26343 (48.8)	8310 (15.4)	2226 (4.1)	96 (0.2)	53993(100)
	($\chi^2=343.48321$, $df=3$, $p=0.00000$)					

表35 あなたにとって、学校生活は次のどれですか？

8. 家庭生活について

(1) 家族との夕食頻度

夕食には、「一家団らん」としての意味合いが本来あると考え、一週間における家族での夕食頻度を調査した。

「夕食を週何回くらい家族全員で食べますか？」との問いに対する回答の分布を表37に、また「母親と週何回くらい夕食を食べますか？」「父親と週何回くらい夕食を食べますか？」のと問いに対する回答の分布を、それぞれ表38、表39に示した。

すべての場合において、回答の分布には有意差 ($p < 0.01$) が認められ、かつ、「ほとんど毎日」食べると答えた者の割合は、常に「シンナー遊び」非経験者で高かった。しかし、「ほとんど食べる」と答えた者の割合の差はそれほど大きいものではなく、むしろ「ほとんど食べない」、

ないしは「母親・父親がいない（死別、離婚、別居、単身赴任などで）」と答えた者の差が両群間で目立った。

すなわち、家族全員での夕食頻度では「ほとんど食べない」と答えた者は、非経験者群の男子で約15%、女子で約16%であったのに対して、経験者群では、男子で約26%、女子で約33%であった。

我が国の社会環境を考えると、父親が夕食時に帰宅できない事情が多々あるが、その結果、父親との夕食頻度が母親との頻度よりも低くなるのは理解できる。しかし、父親との夕食頻度（表39）が家族全員での夕食頻度（表37）よりも低い結果となっているのは、論理の矛盾である。この矛盾はこの種の調査で毎回認められていることであり^{8,9,12,13)}、考察にて論じたい。

いずれにしても、男女ともに、経験者群では、非経験者群に比べて、家族との夕食頻度が有意 ($p < 0.01$) に少ないと解釈できる。

	積極的に参加	消極的に参加	参加して いない	無回答	全 体
男 性					
「シンナー」経験・なし	17094 (63.8)	4202 (15.7)	5267 (19.7)	217 (0.8)	26780 (100)
「シンナー」経験・あり	180 (47.0)	74 (19.3)	125 (32.6)	4 (1.0)	383 (100)
無回答	214 (61.8)	66 (19.1)	54 (15.6)	12 (3.5)	346 (100)
全 体	17488 (63.6)	4342 (15.8)	5446 (19.8)	233 (0.8)	27509 (100)
($\chi^2=52.10108$, $df=2$, $p=0.00000$)					
女 性					
「シンナー」経験・なし	16497 (63.2)	4607 (17.7)	4755 (18.2)	229 (0.9)	26088 (100)
「シンナー」経験・あり	68 (36.0)	47 (24.9)	72 (38.1)	2 (1.1)	189 (100)
無回答	105 (50.7)	47 (22.7)	47 (22.7)	8 (3.9)	207 (100)
全 体	16670 (62.9)	4701 (17.8)	4874 (18.4)	239 (0.9)	26484 (100)
($\chi^2=68.06356$, $df=2$, $p=0.00000$)					
全 体					
「シンナー」経験・なし	33591 (63.5)	8809 (16.7)	10022 (19.0)	446 (0.8)	52868 (100)
「シンナー」経験・あり	248 (43.4)	121 (21.2)	197 (34.4)	6 (1.0)	572 (100)
無回答	319 (57.7)	113 (20.4)	101 (18.3)	20 (3.6)	553 (100)
全 体	34158 (63.3)	9043 (16.7)	10320 (19.1)	472 (0.9)	53993 (100)
($\chi^2=114.40530$, $df=2$, $p=0.00000$)					

表36 あなたは、クラブ活動に参加していますか？

(2) 家庭の円満さについて

「あなたの家庭は『うまくいっている』と思いますか?」との問いに対する回答の分布を表40に示した。

男女ともに、経験者群と非経験者群との間には、回答の分布に有意差 ($p < 0.01$) が認められ、非経験者群では、男子の約5%、女子の6%が「うまくいっていないと思う」と答えたのに対して、

経験者群では、男女ともに約20%の者が「うまくいっていないと思う」と答えた。

経験者群で、「うまくいっていない」傾向が強いことが示唆された。

(3) 一日での大人不在の時間について

「学校、塾、習い事、運動での時間以外、大人が不在の状態、毎日平均どの程度の時間を

	ほとんど毎日	5~6回	4回前後	3回前後	2回前後	ほとんど食べない	無回答	全体
男 性								
「シナ」経験・なし	10145 (37.9)	2999 (11.2)	3121 (11.7)	2367 (8.8)	3977 (14.9)	4132 (15.4)	39 (0.1)	26780 (100)
「シナ」経験・あり	135 (35.2)	31 (8.1)	35 (9.1)	36 (9.4)	44 (11.5)	99 (25.8)	3 (0.8)	383 (100)
無回答	125 (36.1)	38 (11.0)	42 (12.1)	30 (8.7)	52 (15.0)	52 (15.0)	7 (2.0)	346 (100)
全 体	10405 (37.8)	3068 (11.2)	3198 (11.6)	2433 (8.8)	4073 (14.8)	4283 (15.6)	49 (0.2)	27509 (100)
($\chi^2=35.55242$, $df=5$, $p=0.00000$)								
女 性								
「シナ」経験・なし	10174 (39.0)	2927 (11.2)	2816 (10.8)	2129 (8.2)	3895 (14.9)	4099 (15.7)	48 (0.2)	26088 (100)
「シナ」経験・あり	62 (32.8)	16 (8.5)	16 (8.5)	4 (2.1)	28 (14.8)	62 (32.8)	1 (0.5)	189 (100)
無回答	87 (42.0)	22 (10.6)	27 (13.0)	15 (7.2)	21 (10.1)	27 (13.0)	8 (3.9)	207 (100)
全 体	10323 (39.0)	2965 (11.2)	2859 (10.8)	2148 (8.1)	3944 (14.9)	4188 (15.8)	57 (0.2)	26484 (100)
($\chi^2=47.28651$, $df=5$, $p=0.00000$)								
全 体								
「シナ」経験・なし	20319 (38.4)	5926 (11.2)	5937 (11.2)	4496 (8.5)	7872 (14.9)	8231 (15.6)	87 (0.2)	52868 (100)
「シナ」経験・あり	197 (34.4)	47 (8.2)	51 (8.9)	40 (7.0)	72 (12.6)	161 (28.1)	4 (0.7)	572 (100)
無回答	212 (38.3)	60 (10.8)	69 (12.5)	45 (8.1)	73 (13.2)	79 (14.3)	15 (2.7)	553 (100)
全 体	20728 (38.4)	6033 (11.2)	6057 (11.2)	4581 (8.5)	8017 (14.8)	8471 (15.7)	106 (0.2)	53993 (100)
($\chi^2=70.48912$, $df=5$, $p=0.00000$)								

表37 週何回くらい夕食を家族全員で食べますか?

過ごしますか？」との問いに対する回答の分布を表41に示した。

経験者群、非経験者群間で男女ともに統計学的有意差 ($p < 0.01$) が認められ、非経験者群で「3時間以上」と答えた者は、男女ともに12~13%であるのに対して、経験者群では男女ともに32~33%であった。

経験者群で大人不在の時間が長い傾向が示唆

された。

(4)親との相談について

「悩みごとがある時、親と相談する方だと思いますか？」との問いに対する回答の分布を表42に示した。

男女ともに、回答の分布に有意差 ($p < 0.01$)

	ほとんど毎日	5~6回	4回前後	3回前後	2回前後	ほとんど食べない	母親がいない	無回答	全体
男 性									
「シナ」経験・なし	15744 (58.8)	3302 (12.3)	2449 (9.1)	1525 (5.7)	1442 (5.4)	1758 (6.6)	512 (1.9)	48 (0.2)	26780 (100)
「シナ」経験・あり	166 (43.3)	55 (14.4)	30 (7.8)	31 (8.1)	23 (6.0)	57 (14.9)	20 (5.2)	1 (0.3)	383 (100)
無回答	176 (50.9)	30 (8.7)	25 (7.2)	23 (6.6)	19 (5.5)	24 (6.9)	8 (2.3)	41 (11.8)	346 (100)
全 体	16086 (58.5)	3387 (12.3)	2504 (9.1)	1579 (5.7)	1484 (5.4)	1839 (6.7)	540 (2.0)	90 (0.3)	27509 (100)
($\chi^2=81.70805$, $df=6$, $p=0.00000$)									
女 性									
「シナ」経験・なし	17108 (65.6)	2762 (10.6)	1952 (7.5)	1249 (4.8)	1175 (4.5)	1300 (5.0)	489 (1.9)	53 (0.2)	26088 (100)
「シナ」経験・あり	88 (46.6)	19 (10.1)	15 (7.9)	8 (4.2)	13 (6.9)	30 (15.9)	14 (7.4)	2 (1.1)	189 (100)
無回答	104 (50.2)	23 (11.1)	17 (8.2)	7 (3.4)	11 (5.3)	11 (5.3)	6 (2.9)	28 (13.5)	207 (100)
全 体	17300 (65.3)	2804 (10.6)	1984 (7.5)	1264 (4.8)	1199 (4.5)	1341 (5.1)	509 (1.9)	83 (0.3)	26484 (100)
($\chi^2=87.63203$, $df=6$, $p=0.00000$)									
全 体									
「シナ」経験・なし	32852 (62.1)	6064 (11.5)	4401 (8.3)	2774 (5.2)	2617 (5.0)	3058 (5.8)	1001 (1.9)	101 (0.2)	52868 (100)
「シナ」経験・あり	254 (44.4)	74 (12.9)	45 (7.9)	39 (6.8)	36 (6.3)	87 (15.2)	34 (5.9)	3 (0.5)	572 (100)
無回答	280 (50.6)	53 (9.6)	42 (7.6)	30 (5.4)	30 (5.4)	35 (6.3)	14 (2.5)	69 (12.5)	553 (100)
全 体	33386 (61.8)	6191 (11.5)	4488 (8.3)	2843 (5.3)	2683 (5.0)	3180 (5.9)	1049 (1.9)	173 (0.3)	53993 (100)
($\chi^2=168.55152$, $df=6$, $p=0.00000$)									

表38 母親と週何回くらい夕食を食べますか？

が認められ、非経験者群で「ほとんど相談しない方である」と答えた者は、男子で約37%、女子で約30%であるのに対して、経験者群では男子で約56%、女子で約49%であった。

経験者群の方で、親との相談が少ない傾向が示唆された。同時に、「シンナー遊び」経験の有無に関わらず、男女ともに「よく相談する方である」と答えた者の少なさが目立った。

9. 友人について

(1) 遊び友達について

「親しく遊べる友人がいますか？」との問いに対する回答の分布を表43に示した。

	ほとんど毎日	5～6回	4回前後	3回前後	2回前後	ほとんど食べない	父親がいない	無回答	全体
男 性									
「シンナー」経験・なし	7126 (26.6)	3169 (11.8)	3117 (11.6)	2690 (10.0)	4393 (16.4)	3877 (14.5)	2285 (8.5)	123 (0.5)	26780 (100)
「シンナー」経験・あり	88 (23.0)	38 (9.9)	31 (8.1)	35 (9.1)	51 (13.3)	80 (20.9)	57 (14.9)	3 (0.8)	383 (100)
無回答	90 (26.0)	31 (9.0)	34 (9.8)	29 (8.4)	50 (14.5)	40 (11.6)	27 (7.8)	45 (13.0)	346 (100)
全 体	7304 (26.6)	3238 (11.8)	3182 (11.6)	2754 (10.0)	4494 (16.3)	3997 (14.5)	2369 (8.6)	171 (0.6)	27509 (100)
($\chi^2=38.07854$, $df=6$, $p=0.00000$)									
女 性									
「シンナー」経験・なし	7126 (27.3)	3181 (12.2)	2845 (10.9)	2432 (9.3)	4154 (15.9)	3799 (14.6)	2447 (9.4)	104 (0.4)	26088 (100)
「シンナー」経験・あり	48 (25.4)	17 (9.0)	20 (10.6)	10 (5.3)	22 (11.6)	44 (23.3)	26 (13.8)	2 (0.1)	189 (100)
無回答	43 (20.8)	22 (10.6)	27 (13.0)	14 (6.8)	24 (11.6)	25 (12.1)	23 (11.1)	29 (14.0)	207 (100)
全 体	7217 (27.3)	3220 (12.2)	2892 (10.9)	2456 (9.3)	4200 (15.9)	3868 (14.6)	2496 (9.4)	135 (0.5)	26484 (100)
($\chi^2=20.9954$, $df=6$, $p=0.00184$)									
全 体									
「シンナー」経験・なし	14252 (27.0)	6350 (12.0)	5962 (11.3)	5122 (9.7)	8547 (16.2)	7676 (14.5)	4732 (9.0)	227 (0.4)	52868 (100)
「シンナー」経験・あり	136 (23.8)	55 (9.6)	51 (8.9)	45 (7.9)	73 (12.8)	124 (21.7)	83 (14.5)	5 (0.9)	572 (100)
無回答	133 (24.1)	53 (9.6)	61 (11.0)	43 (7.8)	74 (13.4)	65 (13.4)	50 (11.8)	74 (9.0)	553 (100)
全 体	14521 (26.9)	6458 (12.0)	6074 (11.2)	5210 (9.6)	8694 (16.1)	7865 (14.6)	4865 (9.0)	306 (0.6)	53993 (100)
($\chi^2=53.15423$, $df=6$, $p=0.00000$)									

表39 父親と週何回くらい夕食を食べますか？

男女ともに、経験者群と非経験者群との間には有意差 ($p < 0.01$) が認められた。男女ともに、経験者群の方で、「親しく遊べる友人がいない」と答えた生徒が多いのは、これまでの同種の調査結果^{8,9,12,13)}と同じであった。

(2) 相談事のできる友人について

「相談事のできる友人がいますか？」との問いに対する回答の分布を表44に示した。

男女ともに、経験者群・非経験者群間で有意差 ($p < 0.05$, $p < 0.01$) が認められ、経験者群で「相談事のできる友人」が少ない傾向が示唆された。

D. 考察

1. 「シンナー遊び」の広がりについて

わが国の中学生における「シンナー遊び」の広がりについての調査研究で、地域特性を考慮して行われた大規模なものとしては、当分担研

究者の知る限り、1990年に分担研究者らによって千葉県公立中学校12校5,240人を対象に行われた調査研究⁸⁾、その後の本研究事業による一連の調査研究（千葉県の公立中学校14校6,121人, 1992年）⁹⁾、（関東地方一都六県公立中学校12校7,166人, 1993年）¹²⁾、（千葉県の公立中学校15校6,795人, 及び西日本のA県B市の全12校の全中学生6,358人, 1994年）¹³⁾しかない。表45は、それらの結果をまとめたものである。

また、上記一連の調査研究^{8,9,12,13)}は、従来「シンナー遊び」経験者は母子家庭を中心に、「欠損家庭」（最近では「単身家庭」と呼ぶ傾向が強まっている）「崩壊家庭」の子供に多いことが指摘されてきたが、一見問題なさそうな家庭の子供における「シンナー遊び」が、近年目につくようになってきたという臨床経験に対して、夕食頻度等の結果から、たとえ両親がそろっていても、質的に家庭の団らんが少ない「精神的欠損家庭」^{8,10)}とでも言うべき家庭の子供に「シンナー遊び」経験者が少なからずいることを示唆してきた。

	うまく いっている	どちらとも 言えない	うまく いっていない	無回答	全 体
男 性					
「シナ」経験・なし	17705 (66.1)	7238 (27.0)	1285 (4.8)	552 (2.1)	26780 (100)
「シナ」経験・あり	157 (41.0)	142 (37.1)	75 (19.6)	9 (2.3)	383 (100)
無回答	196 (56.6)	81 (23.4)	11 (3.2)	58 (16.8)	346 (100)
全 体	18058 (65.6)	7461 (27.1)	1371 (5.0)	619 (2.3)	27509 (100)
($\chi^2=215.71695$, $df=2$, $p=0.00000$)					
女 性					
「シナ」経験・なし	17802 (68.2)	6338 (24.3)	1568 (6.0)	380 (1.5)	26088 (100)
「シナ」経験・あり	72 (38.1)	70 (37.0)	41 (21.7)	6 (3.2)	189 (100)
無回答	100 (48.3)	61 (29.5)	12 (5.8)	34 (16.4)	207 (100)
全 体	17974 (67.9)	6469 (24.4)	1621 (6.1)	420 (1.6)	26484 (100)
($\chi^2=114.84342$, $df=2$, $p=0.00000$)					
全 体					
「シナ」経験・なし	35507 (67.2)	13576 (25.7)	2853 (5.4)	932 (1.8)	52868 (100)
「シナ」経験・あり	229 (40.0)	212 (37.1)	116 (20.3)	15 (2.6)	572 (100)
無回答	296 (53.5)	142 (25.7)	23 (4.2)	92 (16.6)	553 (100)
全 体	36032 (66.7)	13930 (25.8)	2992 (5.5)	1039 (1.9)	53993 (100)
($\chi^2=319.00021$, $df=2$, $p=0.00000$)					

表40 あなたの家庭は「うまくいっている」と思いませんか？

今回の調査研究は、表45に示したこれまでの調査研究を発展させたもので、わが国初の薬物乱用に関する全国中学生調査である。

1. 有機溶剤乱用の広がりについて

今回の調査研究では、「シンナー遊び」生涯経験率は、男子では1.4%（1年生1.1%, 2年生1.3%, 3年生1.7%）、女子では0.7%（1年生0.7%, 2年生0.

6%, 3年生0.8%）、全体では1.1%（1年生0.9%, 2年生1.0%, 3年生1.3%）であった。

しかし、この種の調査で最も問題になるのは、結果の信頼性であろう。この信頼性は、自己記入式調査（アンケート調査）と同時に何らかの客観的検査（たとえば尿からの馬尿酸の測定）を実施することによって、初めて明らかになることである。しかしながら、尿検査の実施は、個人の人権上の問題にも関わる難しい方法であ

	なし	1時間未満	1~2時間	2~3時間	3時間以上	無回答	全体
男性							
「シンナー」経験・なし	9490 (35.4)	5181 (19.3)	5038 (18.8)	3256 (12.2)	3425 (12.8)	390 (1.5)	26780 (100)
「シンナー」経験・あり	91 (23.8)	48 (12.5)	46 (12.0)	58 (15.1)	123 (32.1)	17 (4.4)	383 (100)
無回答	103 (29.8)	60 (17.3)	43 (12.4)	42 (12.1)	38 (11.0)	60 (17.3)	346 (100)
全体	9684 (35.2)	5289 (19.2)	5127 (18.6)	3356 (12.2)	3586 (13.0)	467 (1.7)	27509 (100)
($\chi^2=147.77172$, $df=4$, $p=0.00000$)							
女性							
「シンナー」経験・なし	11376 (43.6)	4048 (15.5)	4166 (16.0)	2984 (11.4)	3134 (12.0)	380 (1.5)	26088 (100)
「シンナー」経験・あり	52 (27.5)	25 (13.2)	21 (11.1)	25 (13.2)	62 (32.8)	4 (2.1)	189 (100)
無回答	70 (33.8)	27 (13.0)	28 (13.5)	15 (7.2)	27 (13.0)	40 (19.3)	207 (100)
全体	11498 (43.4)	4100 (15.5)	4215 (15.9)	3024 (11.4)	3223 (12.2)	424 (1.6)	26484 (100)
($\chi^2=82.33530$, $df=4$, $p=0.00000$)							
全体							
「シンナー」経験・なし	20866 (39.5)	9229 (17.5)	9204 (17.4)	6240 (11.8)	6559 (12.4)	770 (1.5)	52868 (100)
「シンナー」経験・あり	143 (25.0)	73 (12.8)	67 (11.7)	83 (14.5)	185 (32.3)	21 (3.7)	572 (100)
無回答	173 (31.3)	87 (15.7)	71 (12.8)	57 (10.3)	65 (11.8)	100 (18.1)	553 (100)
全体	21182 (39.2)	9389 (17.4)	9342 (17.3)	6380 (11.8)	6809 (12.6)	891 (1.7)	53993 (100)
($\chi^2=234.48377$, $df=4$, $p=0.00000$)							

表41 大人が不在の状態で、毎日平均どの程度時間を過ごしますか？

り、実施は事実上不可能である。したがって、当研究者らは、類似した方法論にもとづく継続的な調査の結果のトレンドを見るのが、本調査研究の主目的であると考えている。

したがって、今回の調査研究は方法論的には表45に示した他の一連の調査研究と同じであるが、対象がこれまでとは異なっており、今後、同種の調査研究を繰り返す中で、今回の結果も実質的な意味を持つてくると考えている。

わが国における有機溶剤乱用の広がり

を推定するためには、犯罪白書²⁾による「毒物及び劇物取締法」違反者数および「薬物関連精神疾患に関する全国精神病院調査」の結果³⁾を利用することができる。

犯罪白書²⁾によれば、毒物及び劇物取締法違反者数は、1982年の36,796人をピークに減少しはじめ、1989年～1991年には27,000人～29,000人台の「横這い状態」にあったが、1992年には21,603人とさらに減少し、その後も減少を続け、1995年には10,423人となっている。また、「薬物関

	よく する	どちらかと いえばする	どちらかと いえばしない	ほとんど しない	親が いない	無回答	全体
男 性							
「シナー」経験・なし	2139 (8.0)	6706 (25.0)	7778 (29.0)	9948 (37.1)	96 (0.4)	113 (0.4)	26780 (100)
「シナー」経験・あり	23 (6.0)	45 (11.7)	77 (20.1)	213 (55.6)	19 (5.0)	6 (1.6)	383 (100)
無回答	16 (4.6)	76 (22.0)	78 (22.5)	128 (37.0)	0 (0.0)	48 (13.9)	346 (100)
全 体	2178 (7.9)	6827 (24.8)	7933 (28.8)	10289 (37.4)	115 (0.4)	167 (0.6)	27509 (100)
($\chi^2=2265.39619$, $df=4$, $p=0.00000$)							
女 性							
「シナー」経験・なし	3418 (13.1)	7599 (29.1)	7009 (26.9)	7901 (30.3)	84 (0.3)	77 (0.3)	26088 (100)
「シナー」経験・あり	16 (8.5)	30 (15.9)	36 (19.0)	92 (48.7)	11 (5.8)	4 (2.1)	189 (100)
無回答	21 (10.1)	41 (19.8)	54 (26.1)	56 (27.1)	2 (1.0)	33 (15.9)	207 (100)
全 体	3455 (13.0)	7670 (29.0)	7099 (26.8)	8049 (30.4)	97 (0.4)	114 (0.4)	26484 (100)
($\chi^2=200.01979$, $df=4$, $p=0.00000$)							
全 体							
「シナー」経験・なし	5557 (10.5)	14305 (27.1)	14787 (28.0)	17849 (33.8)	180 (0.3)	190 (0.4)	52868 (100)
「シナー」経験・あり	39 (6.8)	75 (13.1)	113 (19.8)	305 (53.3)	30 (5.2)	10 (1.7)	572 (100)
無回答	37 (6.7)	117 (21.2)	132 (23.9)	184 (33.3)	2 (0.4)	81 (14.6)	553 (100)
全 体	5633 (10.4)	14497 (26.8)	15032 (27.8)	18338 (34.0)	212 (0.4)	281 (0.5)	53993 (100)
($\chi^2=478.47199$, $df=4$, $p=0.00000$)							

表42 悩みごとがある時、親と相談する方だと思いますか？

	いる	いない	無回答	全体
男性				
「シナ-」経験・なし	25539 (95.4)	1075 (4.0)	166 (0.6)	26780 (100)
「シナ-」経験・あり	338 (88.3)	39 (10.2)	6 (1.6)	383 (100)
無回答	286 (82.7)	15 (4.3)	45 (13.0)	346 (100)
全体	26163 (95.1)	1129 (4.1)	217 (0.8)	27509 (100)
($\chi^2=37.35289$, $df=1$, $p=0.00000$)				
女性				
「シナ-」経験・なし	25086 (96.2)	883 (3.4)	119 (0.5)	26088 (100)
「シナ-」経験・あり	169 (89.4)	17 (9.0)	3 (1.6)	189 (100)
無回答	167 (80.7)	8 (3.9)	32 (15.5)	207 (100)
全体	25422 (96.0)	908 (3.4)	154 (0.6)	26484 (100)
($\chi^2=18.31019$, $df=1$, $p=0.00002$)				
全体				
「シナ-」経験・なし	50625 (95.8)	1958 (3.7)	285 (0.5)	52868 (100)
「シナ-」経験・あり	507 (88.6)	56 (9.8)	9 (1.6)	572 (100)
無回答	453 (81.9)	23 (4.2)	77 (13.9)	553 (100)
全体	51585 (95.5)	2037 (3.8)	371 (0.7)	53993 (100)
($\chi^2=59.16740$, $df=1$, $p=0.00000$)				

表43 親しく遊べる友人がいますか？

	いる	いない	無回答	全体
男性				
「シナ-」経験・なし	21209 (79.2)	5232 (19.5)	339 (1.3)	26780 (100)
「シナ-」経験・あり	281 (73.4)	90 (23.5)	12 (3.1)	383 (100)
無回答	226 (65.3)	68 (19.7)	52 (15.0)	346 (100)
全体	21716 (78.9)	5390 (19.6)	403 (1.5)	27509 (100)
($\chi^2=4.59768$, $df=1$, $p=0.03202$)				
女性				
「シナ-」経験・なし	23396 (89.7)	2433 (9.3)	259 (1.0)	26088 (100)
「シナ-」経験・あり	157 (83.1)	29 (15.3)	3 (1.6)	189 (100)
無回答	161 (77.8)	14 (6.8)	32 (15.5)	207 (100)
全体	23714 (89.5)	2476 (9.3)	294 (1.1)	26484 (100)
($\chi^2=8.20970$, $df=1$, $p=0.00417$)				
全体				
「シナ-」経験・なし	44605 (84.4)	7665 (14.5)	598 (1.1)	52868 (100)
「シナ-」経験・あり	438 (76.6)	119 (20.8)	15 (2.6)	572 (100)
無回答	387 (70.0)	82 (14.8)	84 (15.2)	553 (100)
全体	45430 (84.1)	7866 (14.6)	697 (1.3)	53993 (100)
($\chi^2=19.69292$, $df=1$, $p=0.00001$)				

表44 相談事のできる友人がいますか？

連精神疾患に関する全国精神病院調査」⁴⁾でも、1991年に覚せい剤を抜いて原因薬物のトップになった有機溶剤が、1993年以降は覚せい剤に次ぐ第2位となっており、どうやら、1992年ないしは1993年以降、有機溶剤の乱用は減少傾向にある(厳密には、かつてほどの流行の勢いはない)ようである。

今回の結果は、表45の他の調査結果とは対象が異なるため、単純比較はできないことは論じたが、これまでの結果よりも若干低めの結果であり、有機溶剤乱用の勢いが鈍ってきている可能性を示唆している。

ただし、有機溶剤乱用の勢いが鈍ってきている可能性があると言っても、喜べない問題--高校生における覚せい剤乱用者の増加と乱用薬物の多様化--が現在進行中であり、その点については、後述したい。

今回の調査結果を利用する際に、考慮すべき重要な点の一つとして、対象校の調査回答状況(表1)が挙げられる。対象校186校中58.1%の中学校に回答して頂けたが、8府県では全く回答していただかず、特に神奈川県、京都府、奈良県、広島県(これらの府県では、人口10万人当たり

の覚せい剤取締法違反検挙者数が全国平均よりも高い¹⁾)で全く回答していただけなかった点は考慮すべきであろうと考えている。その意味では、大阪府での回答率の低さも同様であろう。これらの事実が調査結果にどのような影響を及ぼしているかは断定できないが、結果的に「低めに出た」と考えるのが一般的であろう。

また、この1年間での有機溶剤乱用経験については、これまでの一連の調査研究^{8,9,12,13)}でも論評をしてこなかったが、それは結果の数字が非常に小さく、無回答の者の方が常に多いという結果であったからである。これは今回についても同じである。あくまでも参考資料と言うことになる。

2. 「シンナー遊び」の身近さ

「シンナー遊び」を目撃したことのある率(表5)、身近に「シンナー遊び」をしている者がいる率(表6)、「シンナー遊び」に誘われたことのある率(表7)は、中学生にとっての「シンナー遊び」の身近さを示す指標であるが、男女ともに、学年が進むにしたがって率が高くなって

	1990年 ⁸⁾	1992年 ⁹⁾	1993年 ¹²⁾	1994年 ¹³⁾	今回
男 性	2.1	2.5	1.6	1.9	1.4
1年生	1.2	1.8	1.3	1.2	1.1
2年生	2.9	3.5	1.7	2.0	1.3
3年生	2.3	2.0	1.8	2.3	1.7
女 性	0.9	1.2	0.7	1.1	0.7
1年生	0.4	0.9	0.9	1.1	0.7
2年生	0.8	1.2	0.7	1.1	0.6
3年生	1.7	1.5	0.6	1.1	0.7
全 体	1.5	1.8	1.2	1.5	1.1
1年生	0.8	1.4	1.1	1.2	0.9
2年生	1.9	2.4	1.2	1.6	1.0
3年生	1.9	1.8	1.2	1.7	1.3
対象	千葉県 12校 5,240人	千葉県 14校 6,121人	関東1都6県 12校 7,166人	千葉県15校 6,795人 A県B市12校6,358人 計13,153人	

表45 「シンナー遊び」生涯経験率 (%)

いる。このことは、先の「経験率」と表裏一体の関係であり、この「目撃した」「経験者を知っている」「誘われた」に関する項目が、「シンナー遊び」の広がり間接的に反映する指標になると考えている。

表46～表48は、これまでの類似の調査研究結果と今回の結果とを比較したものである。ここでも、今回の結果はこれまでよりも全て低くなっており、単純比較できない事情は表45と同じであるが、どうやら、1992年ないしは1993年以降、有機溶剤の乱用に陰りが見られてきたという先の推論を支持する結果となった。

3. 「シンナー遊び」の法規制と害知識

わが国の規制薬物乱用が、多くの他国に比べて少ない背景には、国民の法に対する遵守性の高さがあるのではないかと推定している。

経験者群では、法に対する遵守性が非経験者群に比べて、有意に希薄だという今回の結果は、これまでのこの一連の調査結果と同じであった。

そもそも、ある薬物の使用が法で禁止される際の根拠として、その薬物が人体に及ぼす影響という視点は非常に重要と考えられるが、「禁止

する必要はない」「シンナーくらいいいのでは」を選択した生徒が、有機溶剤乱用による精神および身体面での害知識をきちんと持った上で、回答しているかどうかという点が一つのポイントであろう。

有機溶剤乱用による「急性中毒死」(表14)、「歯の腐食」(表15)、「多発神経炎」(表16)、「精神病状態」(表17)、「無動機症候群」(表18)、「フラッシュバック」(表19)の知識は、男女共に経験者群の方が知っているという結果になった。この結果は、これまでの一連の同種の調査^{8,9,12,13)}でも認められており、「知識」と「行動」の不一致を改めて確認する結果となった。この結果は、薬物乱用防止教育における「知識」というものの持つ限界を暗示しているものであり、薬物乱用防止教育の「質」を考える際の重要な資料であると考えられる。

それにしても、全般的に害の知識普及率は決して満足できるものではなく、特に「無動機症候群」と「フラッシュバック」についての知識普及率は、これまで同様^{8,9,12,13)}、決して満足できるものではないと言わざるを得ない。当研究者の経験では、教育関係の人々より「タバコを吸うと、肺がこんなに黒くなったとか、アルコー

	1992年 ⁹⁾	1993年 ¹²⁾	1994年 ¹³⁾	今回
男 性	24.6	17.1	15.8	12.2
1年生	21.6	14.1	14.6	9.9
2年生	18.5	16.8	15.4	12.6
3年生	21.9	20.0	17.3	14.1
女 性	20.1	16.9	13.9	11.4
1年生	17.0	15.5	11.7	9.1
2年生	13.6	14.8	14.1	12.0
3年生	16.9	20.2	15.6	13.0
全 体	22.3	17.0	14.9	11.8
1年生	19.3	14.7	13.2	9.5
2年生	16.1	15.9	14.8	12.3
3年生	19.4	20.1	16.5	13.6
対象	千葉県 14校 6,121人	関東1都6県 12校 7,166人	千葉県15校 6,795人 A県B市12校6,358人 計13,153人	

表46 「シンナー遊び」を実際に見たことがある者の率 (%)

ルの慢性大量飲酒で肝臓がこんなになったとか
 いうような標本や写真はないか？」としばしば
 尋ねられるが、現時点ではそのようなものはほ
 とんどなく、同時に、身体的障害以上に精神的
 障害が著しいのが覚せい剤や有機溶剤であり、
 これらの薬物は喫煙・飲酒モデルとは同一に考
 えられない面を持っていることを薬物乱用防止
 教育の際には強調する必要がある。

なお、今回、法の遵守に関連して、「ドーピン
 グ」問題を初めて質問項目に加えてみた(表31)。
 対比データがないので何とも言えず、参考資料
 として提供した。

4. 「シンナー遊び」と日常生活

経験者群と非経験者群との比較では、「起床時
 間の規則性」(表32)、「就床時間の規則性」(表
 33)、「朝食の摂取性」(表34) から見た日常生
 活の規則性、及び「学校生活への思い」(表35)、
 「クラブ活動の参加状況」(表36)において、統
 計学的有意差が認められており、経験者群での
 日常生活の不規則さ、学校生活不適応さが明か
 である。

これらの背景には、そもそもの家庭生活のあ

り方が影響していると考えられるが、表37~39
 に見る家族との夕食頻度の差は、今回の調査で
 も経験者群と非経験者群とで歴然としている。

同時に、親との相談頻度の低さ(表42)と共
 に、家庭は「うまくいっていない」と答えた者
 が経験者群で有意に多い(表40) 事實は、「シン
 ナー遊び」が家庭のあり方と密接な関係を有し
 ていることを示唆している。事実、経験者群・非
 経験者群に関わらず、「シンナー遊び」をする原
 因として、「家庭に問題がある」と答えた者が女
 子では最も多く、男子でも最も多い「本人に問
 題があるから」に次いで高い結果となった(表1
 3)。

ところで、「父親との夕食頻度(表39)」は、
 「家族全員での夕食頻度(表37)」よりも低率に
 なっており、これは明らかに矛盾である。しか
 し、この矛盾は、これまでの同種の調査^{8,9,12,13)}で
 も認められており、中学生の考えの中には、「家
 族全員での夕食」と言う時、父親は既に除外さ
 れて考えられる傾向がそれなりにあることを示
 唆していると考えられる。つまり、その背後に
 は、父親はいつも帰りが遅いものだという中
 学生の考え方を伺うことができそうである。

そもそも、当研究者らは、夕食には「一家団

	1992年 ⁹⁾	1993年 ¹²⁾	1994年 ¹³⁾	今回
男 性	8.0	6.6	5.2	4.8
1年生	7.0	4.7	4.4	3.5
2年生	4.2	5.5	4.6	4.5
3年生	8.9	9.2	6.6	6.4
女 性	9.0	8.0	6.7	5.6
1年生	8.2	7.1	4.3	3.9
2年生	6.0	6.8	7.0	6.2
3年生	9.5	10.1	8.4	6.8
全 体	8.5	7.3	6.0	5.2
1年生	7.6	5.8	4.5	3.7
2年生	5.0	6.2	5.9	5.3
3年生	9.2	9.6	7.5	6.6
対象	千葉県 14校 6,121人	関東1都6県 12校 7,166人	千葉県15校 A県B市12校 計13,153人	6,795人 3,58人

表47 身近に「シンナー遊び」をしている人がいると答えた者の率 (%)

「楽」という意味合いがあると考えて調査項目に入れてきた。しかし、この夕食頻度には地域差が大きく、都市部ほど低く、農村部・山間部ほど高い傾向がある^{8,9,12)}。「一家団楽」には、家族としての精神的意味合いも含まれるが、特に都市部における生活様式の多様性を考慮すると、親子の共有時間についての、もう少し直接的な項目が必要であると考えていた。そこで今回初めて「学校、塾、習い事、運動での時間以外、大人が不在の状態で、毎日平均どの程度の時間を過ごしますか？」という項目を加えた(表41)。その結果、「シンナー遊び」非経験者では一日3時間以上大人不在で過ごす者は約1割強であるのに対して、「シンナー遊び」経験者群では約1/3もいるという結果を得た。

有機溶剤乱用者への治療的介入の際に、当研究者らは、親の参加なくして子の回復はないと考えており、親子の共有時間を増やすことの重要性を説いているが^{7,10,11)}、今回の結果はその理由の一つとなるものである。

5. 「ゲイトウェイ・ドラッグ」としてのタバコとアルコール

中学生における喫煙及び飲酒が「シンナー遊び」への「ゲイトウェイ」になっている可能性が高いことは以前より指摘してきたが^{8,9,12,13)}、表21及び表23の結果は、喫煙経験と「シンナー遊び」の結びつきの強さと、親が同伴しない飲酒と「シンナー遊び」との結びつきの強さを再確認するものとなった。

このことは、中学生における喫煙・飲酒防止教育を行う際に指摘すべき重要な点の一つと考えられる。

6. 中学生にとっての「シンナー遊び」

「シンナー」遊び仲間は一見結束が堅そうで親密そうに見えたりもするが、「親しく遊べる友人」の有無(表43)、「相談事のできる友人」の有無(表44)を見ると、実際は逆である可能性が今回も示唆された。

結局、「シンナー遊び」経験者は、総体的に見れば、家庭にも、学校にもなじめず、友人関係も希薄な中学生たちと推論することができよう⁸⁾。

表11～表12は「シンナー遊び」と「仲間」との関係を見ものである。表11では経験者群と非

	1992年 ⁹⁾	1993年 ¹²⁾	1994年 ¹³⁾	今回
男性	3.5	2.1	1.8	1.7
1年生	3.1	1.6	0.5	1.2
2年生	2.1	2.2	1.8	1.7
3年生	3.6	2.5	2.9	2.4
女性	3.7	2.1	1.5	1.5
1年生	2.7	2.4	1.0	1.1
2年生	1.2	1.0	1.1	1.6
3年生	3.2	2.9	2.2	1.8
全体	3.6	2.1	1.6	1.6
1年生	2.9	2.0	0.8	1.1
2年生	1.7	1.6	1.4	1.6
3年生	3.4	2.7	2.6	2.1
対象	千葉県 14校 6,121人	関東1都6県 12校 7,166人	千葉県15校 6,795人 A県B市12校6,358人 計13,153人	

表48 「シンナー遊び」に誘われた経験のある率 (%)

経験者群での捉え方に、明らかな乖離が認められている。非経験者から見れば経験者はほとんど「無関係」な人たち（90%以上）であり、経験者から見れば経験者は「気持ちがわかる」人たちである割合が非常に高いということである。後者の結果は、薬物乱用・依存に果たす「仲間」の役割の大きさを示唆しており、このことは飲酒経験ではっきりと現れている（表23）。

7. 大麻および覚せい剤使用について

この2～3年、一部外国人を中心に、大麻および覚せい剤が大都会では路上で密売されるようになり、大きな社会問題になっている。その影響と思われるが、1996年の1年間に覚せい剤取締法により検挙された高校生の数は対前年度比2.3倍と激増した¹⁴⁾。いくら有機溶剤乱用の勢いが鈍ったようだと言っても、この現実には、わが国の薬物汚染状況の深刻化以外の何物でもない。

当研究者らは、害知識を教えるような調査は薬物乱用防止に役立つと考えているが、本調査で初めて、大麻と覚せい剤乱用についての意識・実態調査を行った（表24～表30）。しかし、前述したように、大麻の注の「チョコ」や覚せい剤の注の「アイス」をとらえて、お菓子としての「チョコ」や「アイス」を食べたことがあるということで「経験あり」を選択した者がいるため、大麻および覚せい剤の乱用経験率については、信頼性に乏しいと言わざるを得ない。さらに、この1年間での「シンナー遊び」経験率同様、大麻の生涯経験率も覚せい剤の生涯経験率も、全て無回答の者の割合より低く、非常に小さいため、何も論じることはできないと考えている。しかし、今後、同種の調査を繰り返す中で評価される可能性があり、今回は参考データとして提供した。今後の継続調査が望まれるところである。

E. 結論

わが国の中学生における「シンナー遊び」の広がりを把握し、同時に「シンナー遊び」開始に関するリスク・ファクターを特定するために、飲酒・喫煙の意識・実態、大麻・覚せい剤乱用の意識・実態をも含めて、1996年10月に、層別1

段集落抽出法により選ばれた全国186校の全生徒を対象に自記式調査を実施し、108校（対象校の58.1%）の中学生54,122人（対象校186校の全生徒の51.1%前後）より回答を得た。有効回答は54,048人であった。

ただし、人口10万人当たりの覚せい剤取締法違反検挙者数が全国平均よりも高い¹⁵⁾神奈川県、京都府、奈良県、広島県の対象校をはじめとして8府県の対象校からの回答が得られず、同様に覚せい剤取締法違反検挙者数が全国平均よりも高い大阪府の対象校からの回答率も低いという限界があることをふまえた上で本調査結果を利用する必要がある。

このような限界はあるが、以下のような結論を得た。

- ①男子では1.4%（1年生1.1%、2年生1.3%、3年生1.7%）、女子では0.7%（1年生0.7%、2年生0.6%、3年生0.8%）、全体では1.1%（1年生0.9%、2年生1.0%、3年生1.3%）の者が、これまでに「シンナー遊び」を経験したことがあると回答した。この結果は、これまでになされた類似の方法論による特定地域の調査結果よりは低い値であった。
- ②この傾向は、毒物及び劇物取締法違反による検挙者数²⁾および「薬物関連精神疾患に関する全国精神病院調査」⁴⁾の傾向と一致しており、わが国における中学生の有機溶剤乱用の勢いは下降気味にあることを示唆するものと推定された。
- ③しかしながら、欧米での歴史は、他の規制薬物の入手が容易になると、乱用薬物が多様化することによって、有機溶剤乱用の勢いは弱まることを教えている。現在のわが国は、有機溶剤乱用傾向の縮小に反して、大麻・覚せい剤をはじめとする他の規制薬物の乱用・依存は拡大傾向にあると考えられ（1996年の1年間に覚せい剤取締法違反により検挙された高校生数は対前年度比2.3倍と激増した¹⁴⁾）、わが国はこれまでにない薬物汚染拡大の危機的状況に置かれていると推定できる。
- ④有機溶剤乱用経験者群では、非経験者群に比べて、日常生活の規則性、学校生活、家庭生活、友人関係において、好ましくない傾向が統計学的有意差を持って強いことが明らかになった。

- ⑤また、中学生における喫煙及び親が同伴しない飲酒は有機溶剤乱用と強い繋がりを持っていることが示唆された。
- ⑥有機溶剤乱用の人体に及ぼす諸害についての知識の普及率は、未だ高いものではなかった。特に、精神的障害については、無動機症候群、フラッシュバック等に関して、これまで以上に教育する必要性が示唆された。同時に、害知識の普及率は有機溶剤経験者群の方が非経験者群より高く、薬物乱用防止教育における「知識」が、直接的には「行動」に結びつきにくい一面があることが示唆された。
- ⑦以上の結果から、中学生における有機溶剤乱用の予防には、「知識」を「行動」に結びつける効果を考えた予防教育が重要であり、同時に、家庭生活の改善、学校生活の充実等、日常レベルでの生活の充実が必要であることが示唆された。
- ⑧また、参考データではあるが、大麻及び覚せい剤乱用についての意識・実態調査データを提供した。

謝辞

本調査研究にご回答いただいた多くの学校および生徒、さらに調査の実施に向けて尽力いただいた団体および個人の方々に心よりお礼を述べさせていただきます。

参考文献

- 1) 厚生省薬務局：平成7年度における麻薬・覚せい剤行政の概況。1996年。厚生省薬務局
- 2) 法務省法務総合研究所：犯罪白書。大蔵省印刷局。
- 3) 文部省大臣官房調査統計企画課：全国学校総覧1996年版。原書房。東京。1995。
- 4) 清水順三郎、福井 進：精神科医療施設における薬物関連精神疾患の実態調査。平成6年度厚生科学研究費補助金「麻薬等総合対策研究事業」薬物依存の社会的、精神医学的特徴に関する研究（主任研究者：福井 進）平成6年度研究成果報告書。pp. 87-118. 1995.
- 5) 和田 清、福井 進：覚せい剤精神病の臨床症状—覚せい剤使用年数との関係—。アルコール研究と薬物依存 25:143-158, 1990.
- 6) 和田 清、福井 進：薬物依存の発生因をめぐって。精神医学 33:633-642, 1991.
- 7) 和田 清：有機溶剤乱用発生の社会的背景—青少年にとり有機溶剤とは何か—。アルコール医療研究 8: 179-184, 1991.
- 8) Wada, K., Fukui, S.: Prevalence of volatile solvent inhalation among junior high school students in Japan and background life style of users. Addiction 88: 89-100, 1993.
- 9) 和田 清：中学生における「シンナー遊び」・喫煙・飲酒についての調査研究。平成4年度厚生科学研究費補助金「麻薬等総合対策研究事業」薬物依存の社会的、精神医学的特徴に関する研究（主任研究者：福井 進）平成4年度研究成果報告書。pp. 25-63. 1993.
- 10) Wada, K., Fukui, S.: Demographic and Social Characteristics of Solvent Abuse Patients in Japan. The American Journal on Addictions 3: 165-176, 1994.
- 11) 和田 清：有機溶剤乱用と家族。精神保健研究 7: 13-17, 1994.
- 12) 和田 清：中学生における「シンナー遊び」・喫煙・飲酒についての調査研究。平成5年度厚生科学研究費補助金「麻薬等総合対策研究事業」薬物依存の社会的、精神医学的特徴に関する研究（主任研究者：福井 進）平成5年度研究成果報告書。pp. 27-54. 1994.
- 13) 和田 清：中学生における「シンナー遊び」・喫煙・飲酒についての調査研究。平成6年度厚生科学研究費補助金「麻薬等総合対策研究事業」薬物依存の社会的、精神医学的特徴に関する研究（主任研究者：福井 進）平成6年度研究成果報告書。pp. 35-60. 1995.
- 14) 読売新聞。1997. 2. 7.